

# *RasterMapMaker*

*Version 12.0*

*操作説明*

*2024/02/13*

## 目 次

<b>1. 紹介</b>	4
(ア) RasterMapMaker の紹介	4
(イ) 独自の機能	4
(ウ) 作成例	4
<b>2. 準備</b>	12
(ア) インストール	12
(イ) 地図データの入手	12
(ウ) データの解凍	16
<b>3. とにかく作ってみる</b>	17
(ア) 基本設定	17
(イ) 描画範囲指定	17
<b>4. 成果品の利用</b>	19
(ア) 静止画(BMP、GeoTIFF 形式)を閲覧する場合	19
(イ) 動画を閲覧する場合	19
(ウ) 地図を分割作成した場合	19
(エ) 成果品のフォルダ	19
<b>5. 標高データの入手</b>	20
(ア) 標高データのダウンロード	20
(イ) 一括解凍	22
<b>6. 標高図を作ってみる</b>	23
(ア) 静止画の標高図	23
(イ) 段彩陰影図	24
(ウ) 浸水動画	25
<b>7. 国土交通省の国土数値情報の入手</b>	26
<b>8. 国土地理院の国土基本情報の入手</b>	30
<b>9. 設定方法</b>	33
(ア) 設定値の読込、保存	33
(イ) 基本設定	33
(ウ) 描画範囲の設定	34
(エ) 描画制御	36
(オ) 標準地域メッシュ	37
(カ) 基盤地図情報（国土地理院）	37
(キ) 国土数値情報（国土交通省）	38
(ク) 国土基本情報（国土地理院）	39
(ケ) 標高設定	40
(コ) 標高メッシュ	42
(サ) 等高線	43
(シ) 浸水動画の設定	44
(ス) 占有メモリの拡大	44
(セ) その他の機能	45

<b>10. 10mメッシュの標高データの入手</b>	47
<b>11. 広域標高解析（50m、250mメッシュ）</b>	48
(ア) 10mメッシュ標高データの準備	48
(イ) メッシュ変換	48
(ウ) 広域標高図の作成	49
(エ) 広域等高線図の作成	49
(オ) 広域段彩陰影図の作成	50
(カ) 広域段彩陰影図の動画作成	50
<b>12. 広域標高解析（1500mメッシュ）</b>	51
(ア) 標高データの準備	51
(イ) 座標系の選択	51
(ウ) 標高 Mesh、等高線の選択	51
(エ) 描画範囲の指定	51
<b>13. 作成のコツ</b>	52
(ア) 標高図のコツ	52
(イ) 等高線図のコツ	54
(ウ) 窪地図のコツ	55
(エ) 浸水動画のコツ	56
(オ) 動画が再生できない場合	57
(カ) GeoTIFFのコツ	59
<b>14. 津波・高潮浸水図の作成</b>	60
(ア) 地図データの準備	60
(イ) 標高データの準備	60
(ウ) 地図の描画	60
(エ) 標高図の描画	61
(オ) 浸水図の描画	62
<b>15. 津波浸水動画の作成</b>	64
<b>16. Google Earthで浸水域を表示</b>	66
<b>17. 備考</b>	69
(ア) 地図データの使用手続き	69
(イ) 精度について	69
(ウ) アンインストール	69
(エ) ヘルプ	70
(オ) ご意見・お問合せ	72
(カ) ソフトウェアの著作権	72
(キ) 受賞	72
(ク) 測量成果の利用承認	73
(ケ) バージョンアップ履歴	73

## 1. 紹介

### (ア)RasterMapMaker の紹介

ご利用ありがとうございます。**RasterMapMaker** は国土地理院や国土交通省、**National Geophysical Datacenter** のデータから地図の画像を作成します。  
パラメータの設定により様々な地図を作成できます。  
レジストリへの書込みは行っていません。気軽にお試しください。

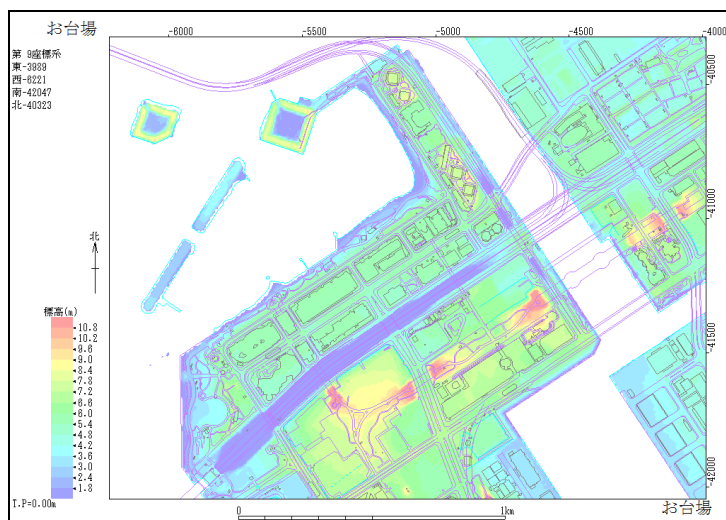
### (イ)独自の機能

基盤地図情報を変換するソフトは少ないのですが、その中でも **RasterMapMaker** は独自の機能を備えています。

- ① 浸水動画の作成
- ② 窪地の抽出
- ③ 分割作成
- ④ 50m、250m、1500m 標高メッシュに対応
- ⑤ 標高パラメータの自動設定
- ⑥ 段彩陰影図の平坦地モード

### (ウ)作成例

標高図：お台場 （国土地理院 承認番号 平 27 情使、第 701 号）

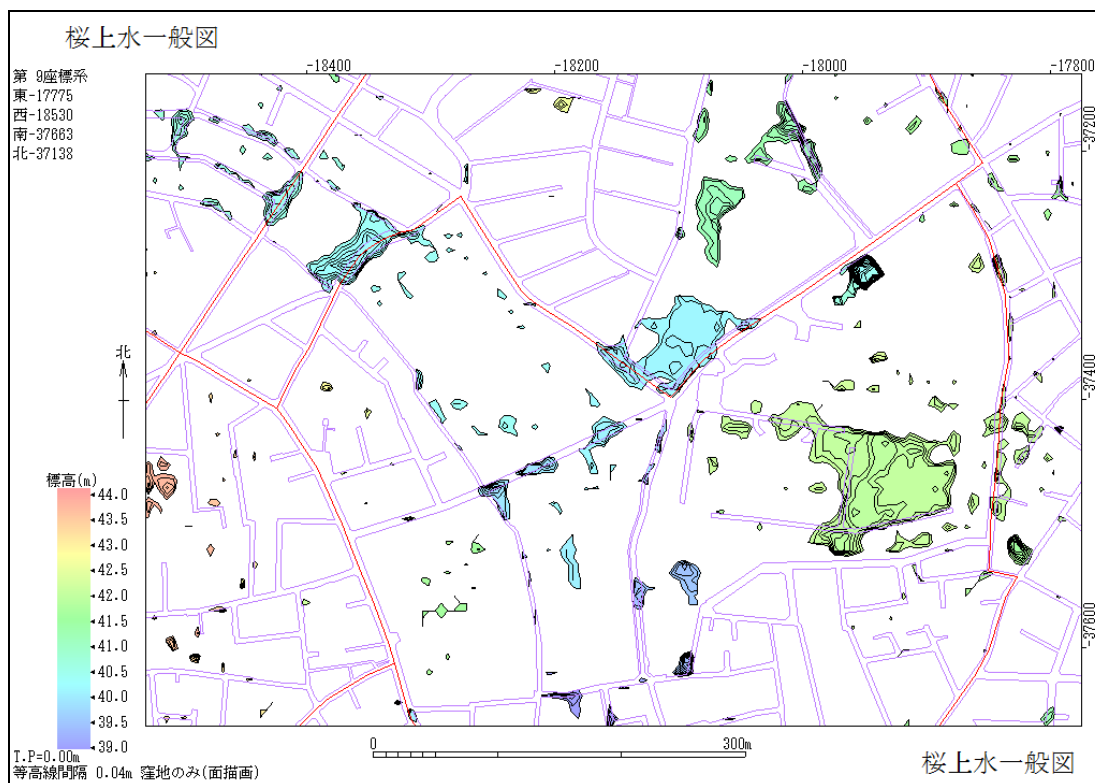




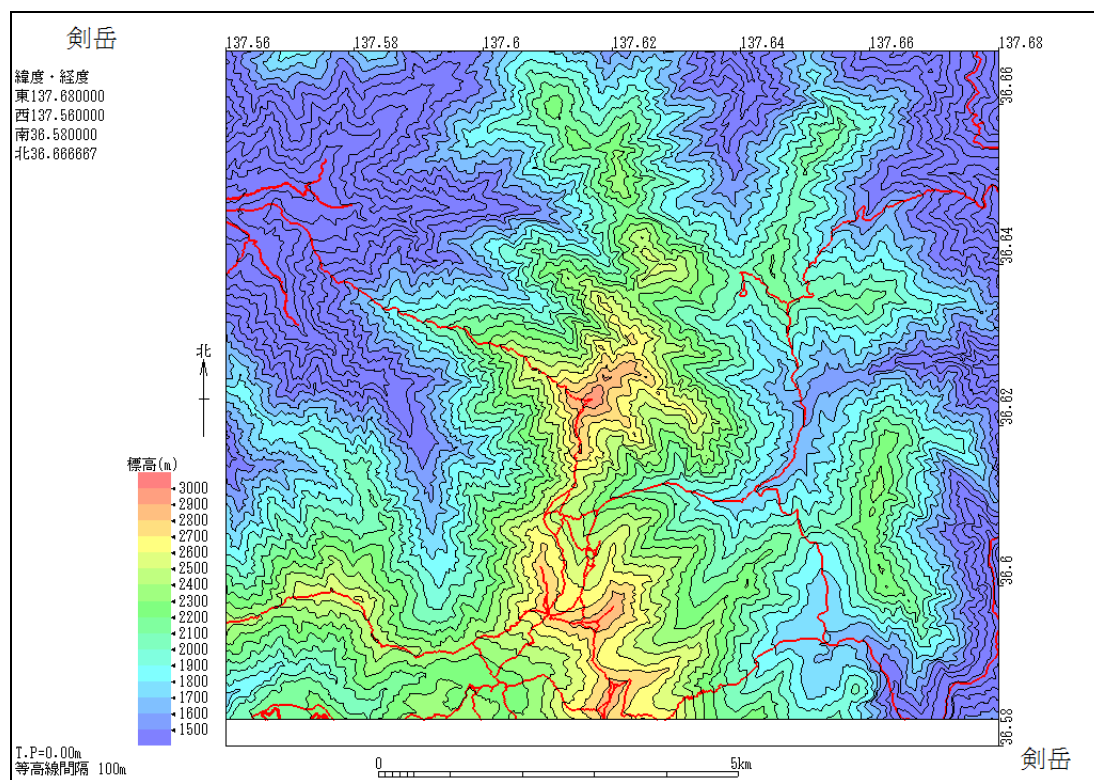
国土基本情報：名古屋港（国土地理院 承認番号 平 27 情使、第 701 号）



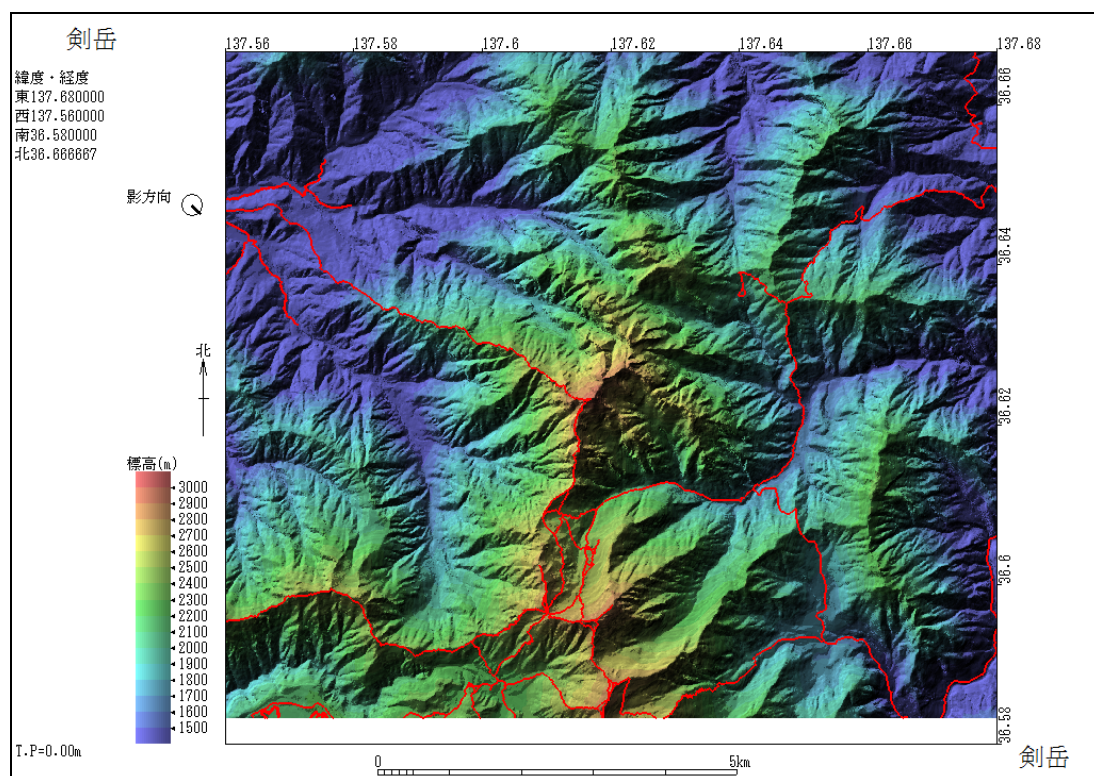
窪地図：桜上水（国土地理院 承認番号 平 27 情使、第 701 号）



等高線図：劔岳（国土地理院 承認番号 平 27 情使、第 701 号）



段彩陰影図：劔岳（山岳地モード）（国土地理院 承認番号 平 27 情使、第 701 号）

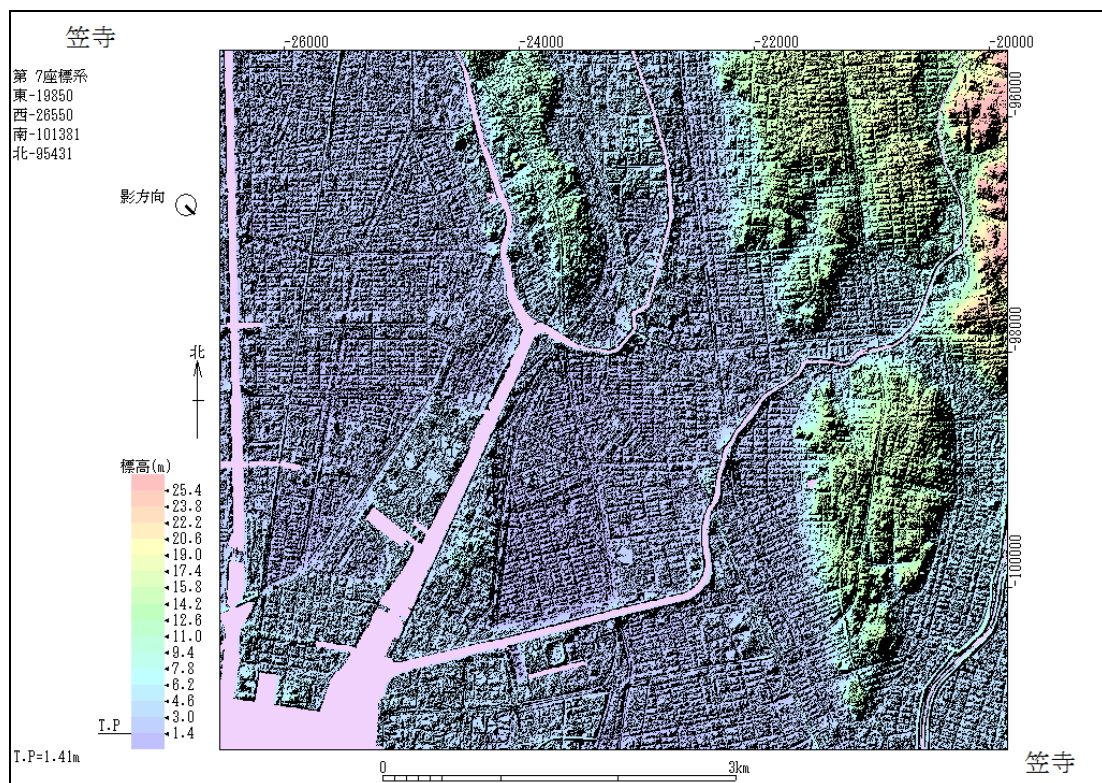




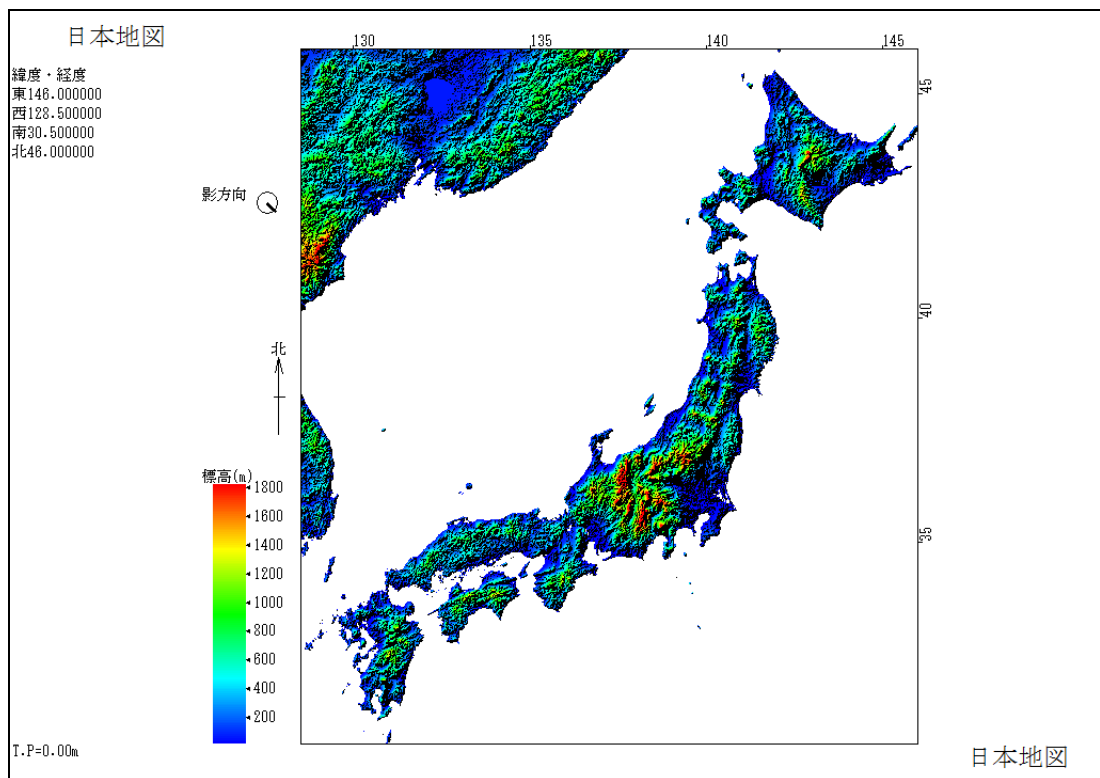
等高線図：築地口（国土地理院 承認番号 平 27 情使、第 701 号）



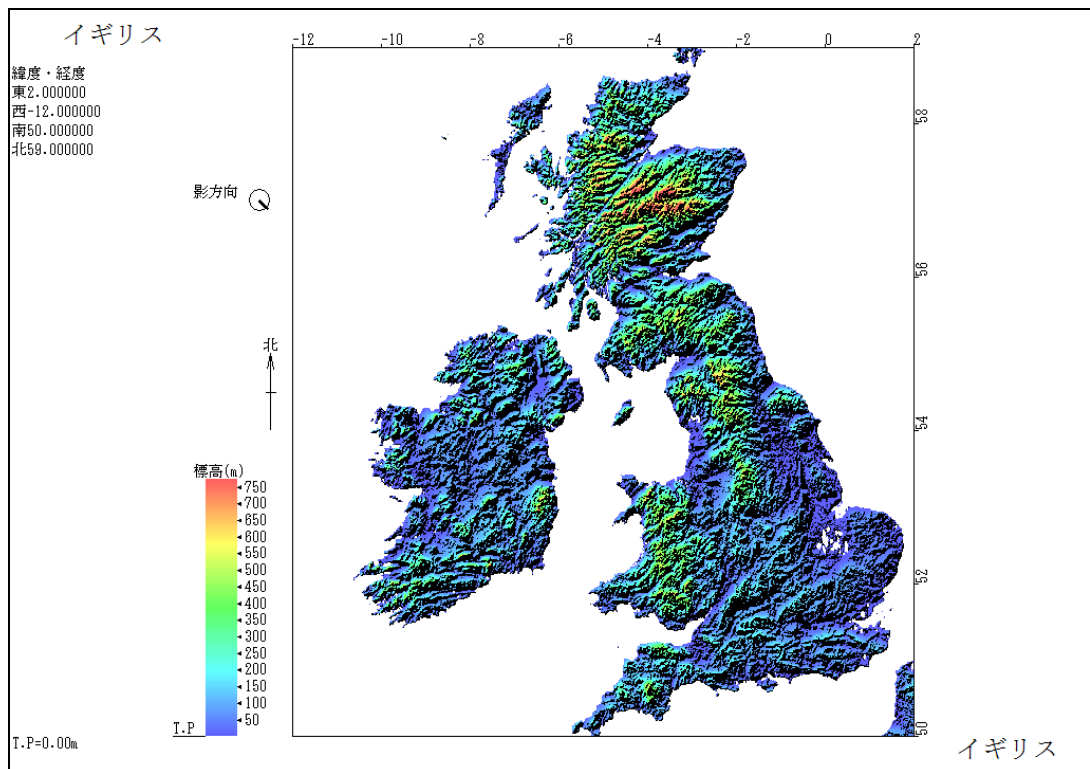
段彩陰影図：笠寺（平坦地モード）（国土地理院 承認番号 平 27 情使、第 701 号）



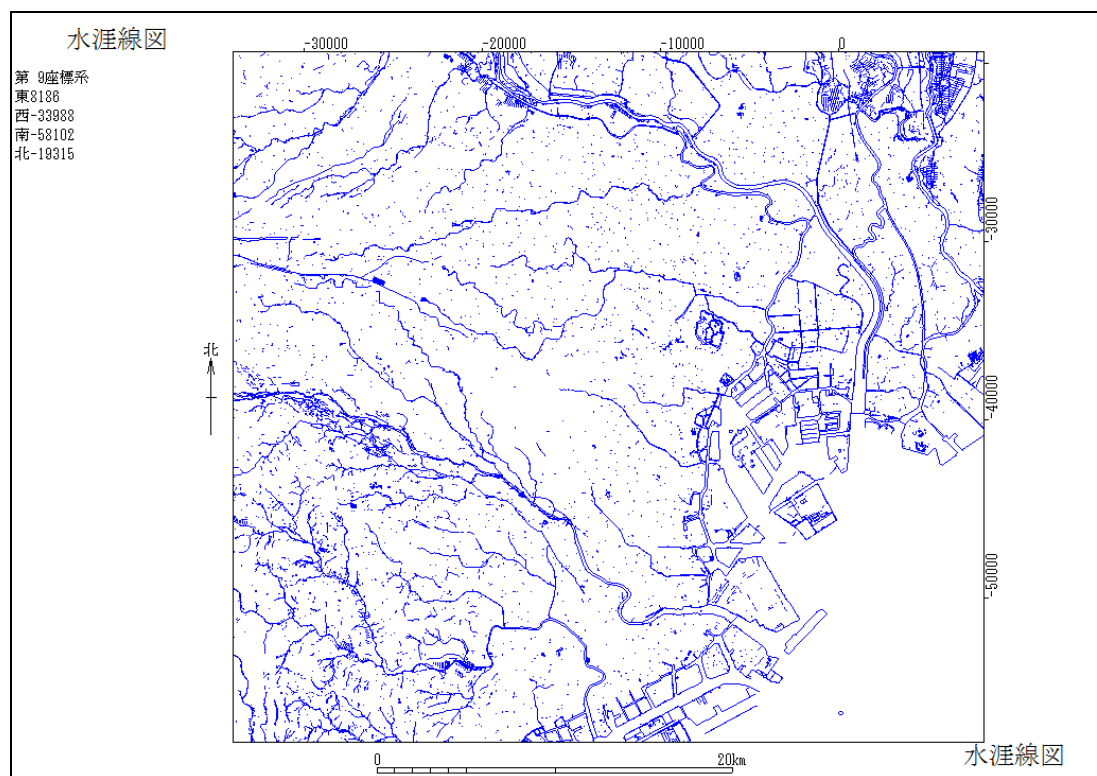
段彩陰影図：日本列島（平坦地モード）



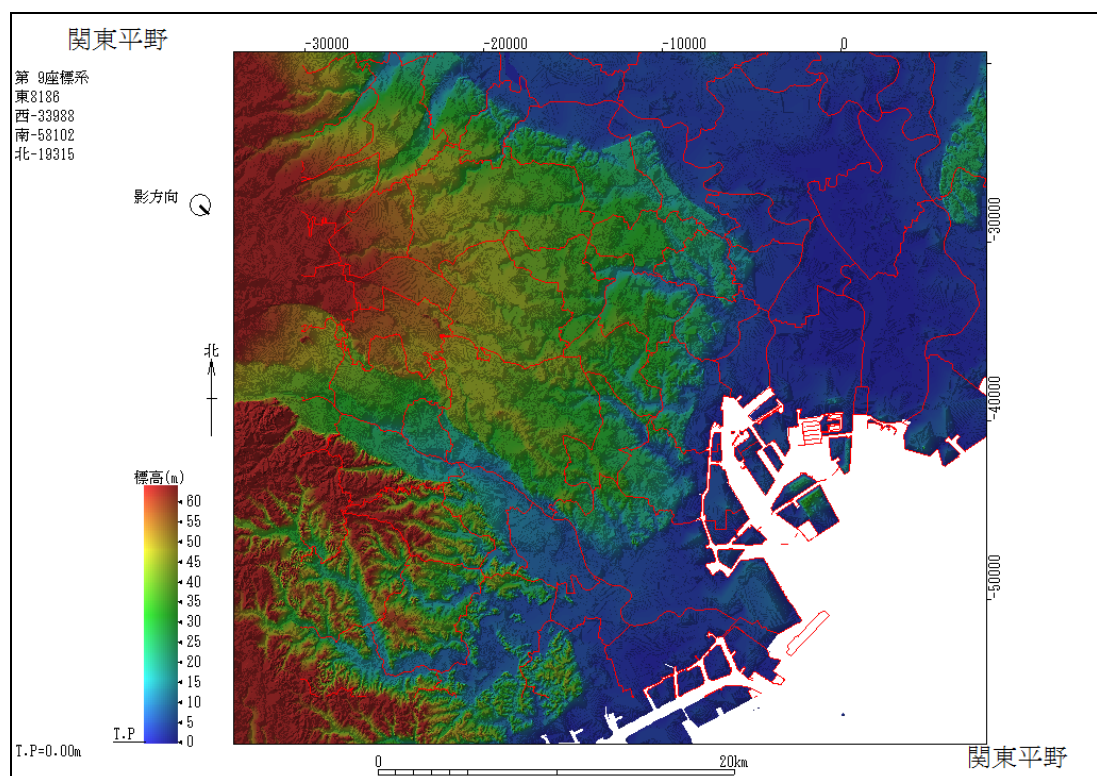
段彩陰影図：イギリス（平坦地モード）



水際線図：関東（国土地理院 承認番号 平 27 情使、第 701 号）

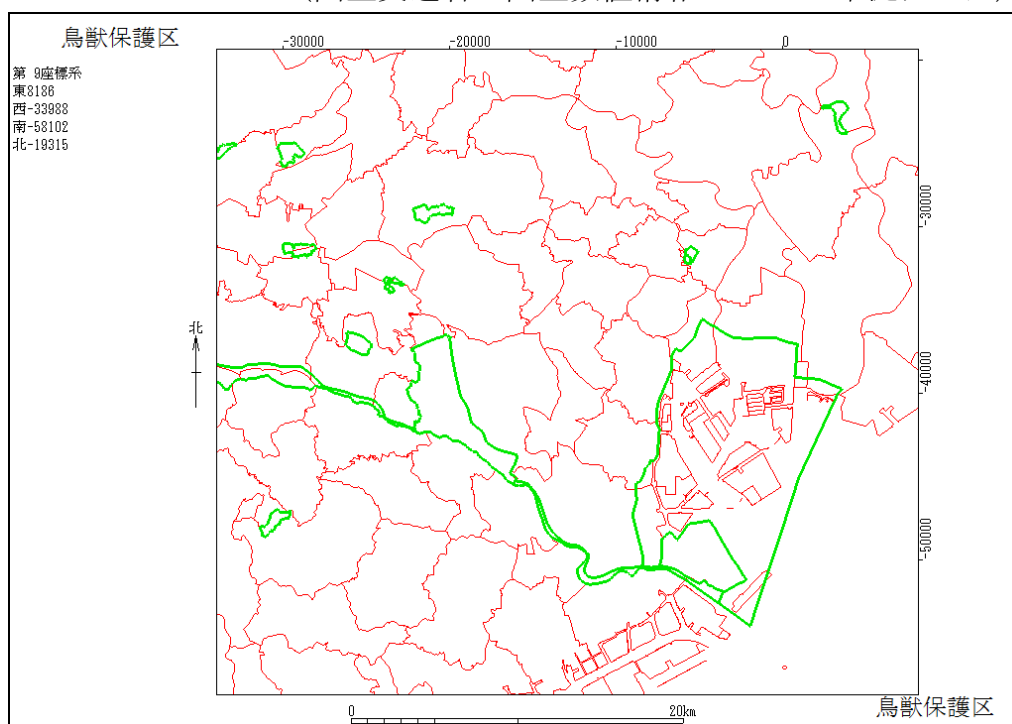


標高図：関東（国土地理院 承認番号 平 27 情使、第 701 号）

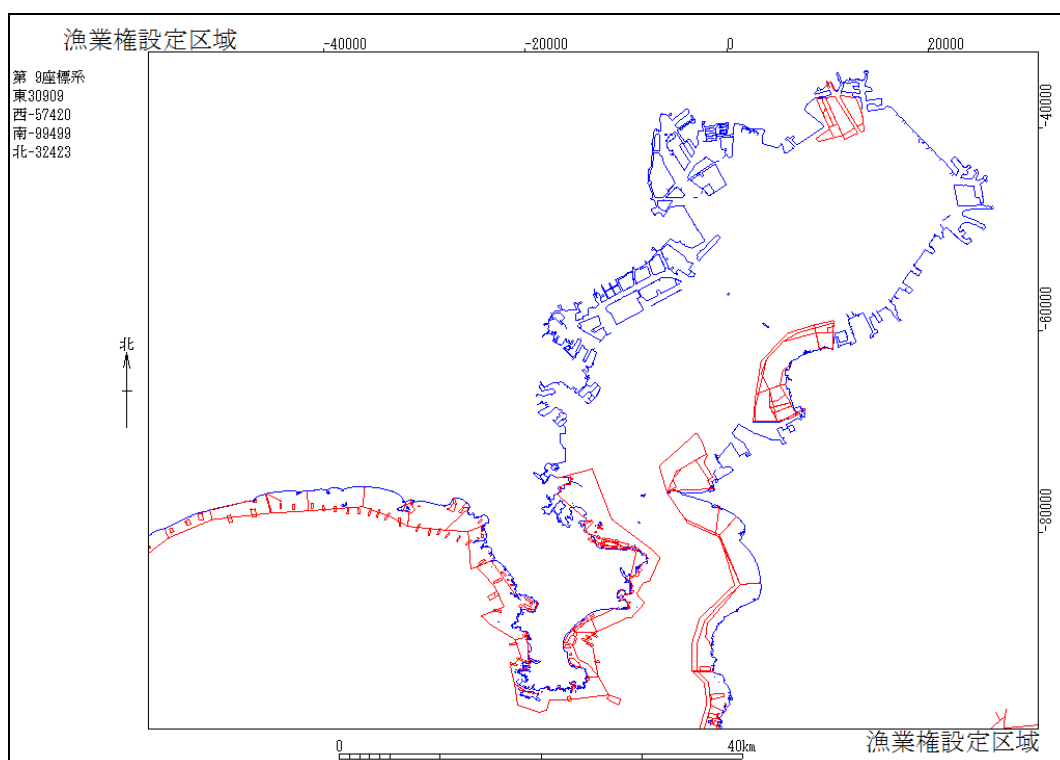




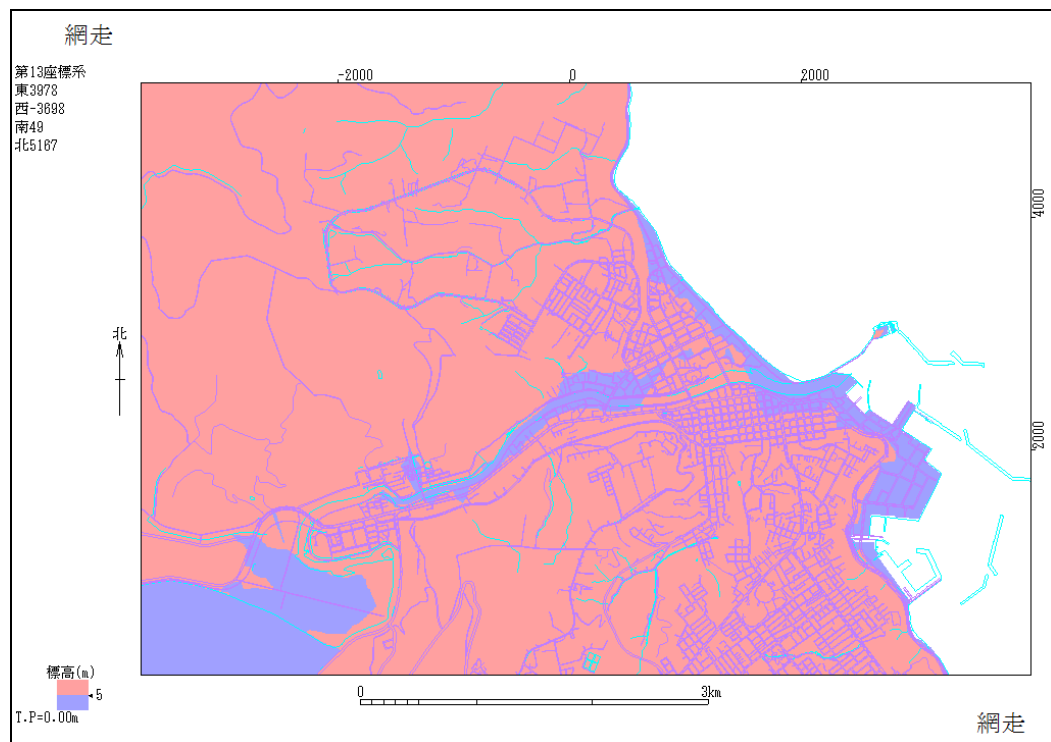
鳥獣保護区指定図：(国土地理院 承認番号 平 27 情使、第 701 号)  
(国土交通省 国土数値情報 JPGIS 準拠データ)



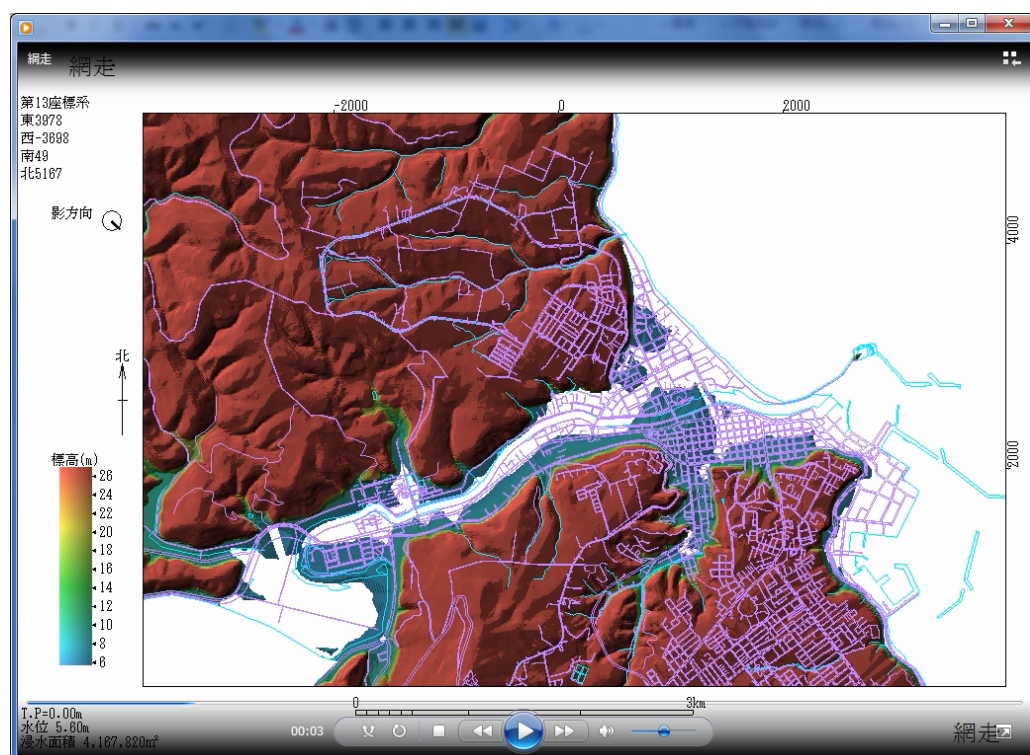
漁業権設定区域図：(国土地理院 承認番号 平 27 情使、第 701 号)  
(国土交通省 国土数値情報 統一フォーマットデータ)



津波浸水予想図 （国土地理院 承認番号 平 27 情使、第 701 号）



浸水動画 （国土地理院 承認番号 平 27 情使、第 701 号）



## 2. 準備

### (ア)インストール

#### ① 空き容量の確保

国土地理院の地図データは1つの図郭で数百M バイトの容量が必要です。  
ハードディスクには十分な空き容量を用意してください。

#### ② 解凍データの移動

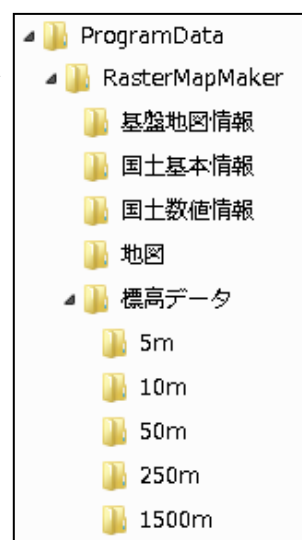
rmm.zip を解凍し、生成された RasterMapMaker フォルダを移動します。  
Windows 2000、Xp では C:\ProgramData フォルダを作成し、そこに移動して下さい。

Windows Vista、7、8、10 では C:\ProgramData に移動して下さい。

フォルダが見つからないときは P70 ヘルプ①

もし C:\ProgramData に書込めない場合は、  
書きこみ可能なフォルダに移動してください。

Windows2000 は gdiplus.dll の組込みが必要です。



### (イ)地図データの入手

#### ① RasterMapMaker.exe を起動。



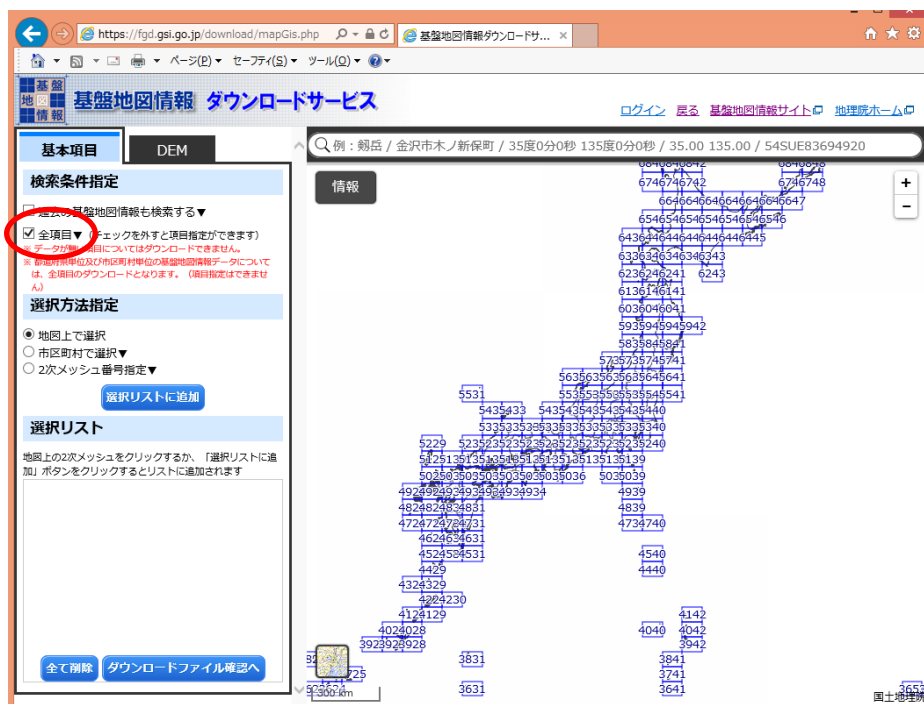


- ② 画面左下の **基盤地図情報ダウンロード** を選択

ダウンロードファイル形式選択の画面が表示されたら「基盤地図情報基本項目 ファイル選択へ」を選択。



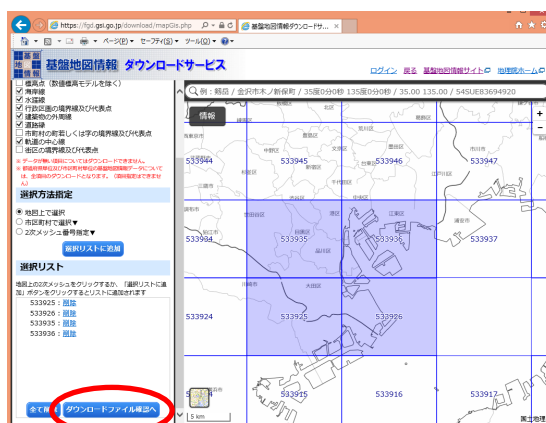
- ③ 「全項目」の文字をクリックし描画したいデータにチェックを入れます。



- ④ 「行政区画の境界線及び代表点」には必ずチェックを入れてください。地図が表示されるので対象地域を拡大表示。



- ⑤ 描画したいデータにチェックを入れ、**ダウンロードファイル確認へ**を選択

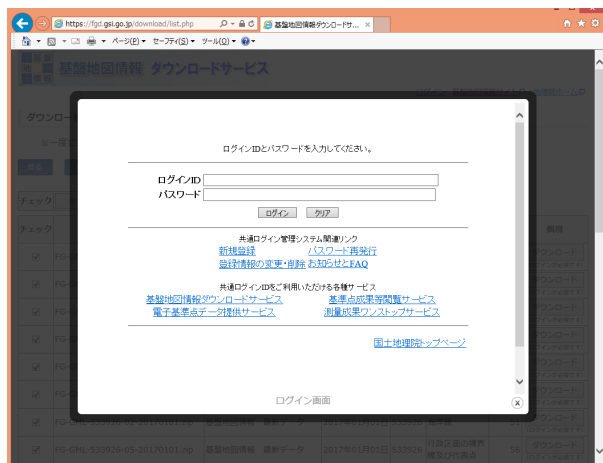


- ⑥ ダウンロードファイルリストが表示されるので、**全てチェック**を

クリックし、**まとめてダウンロード**を選択



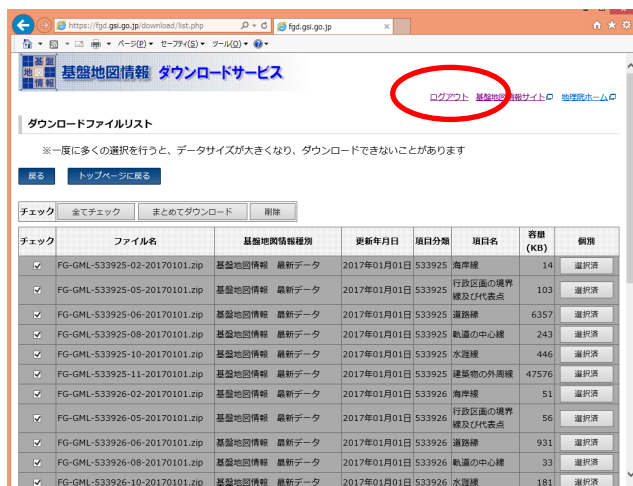
- ⑦ ユーザーID、パスワードが必要です。



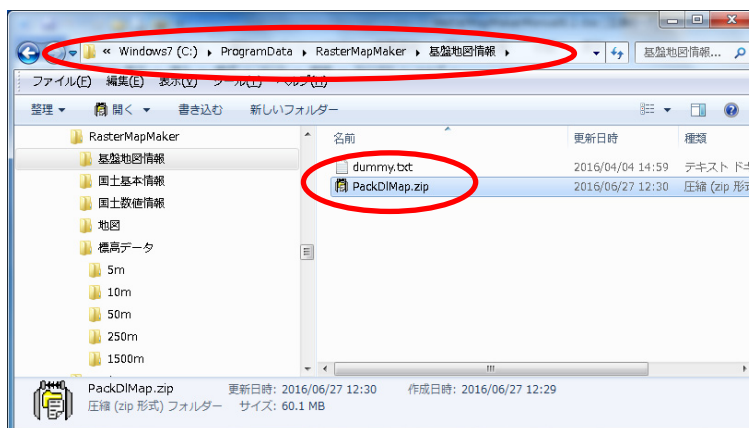
- ⑧ ログインし、しばらく待つとダウンロード可能になります



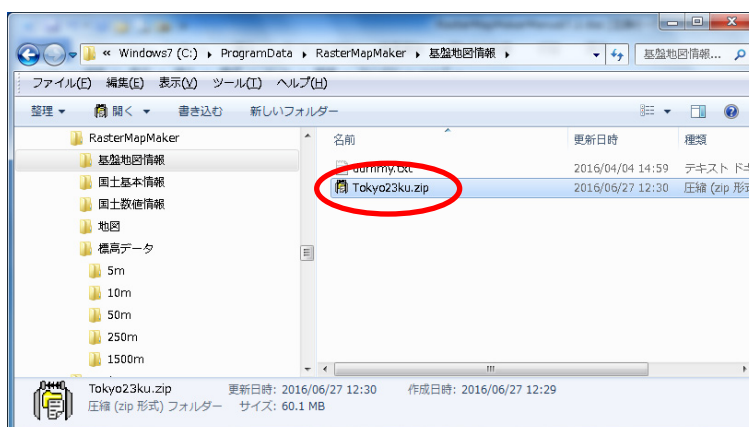
- ⑨ すべてのダウンロードが完了したら「ログアウト」。



⑩ ダウンロードしたデータを RasterMapMaker¥基盤地図情報に移動

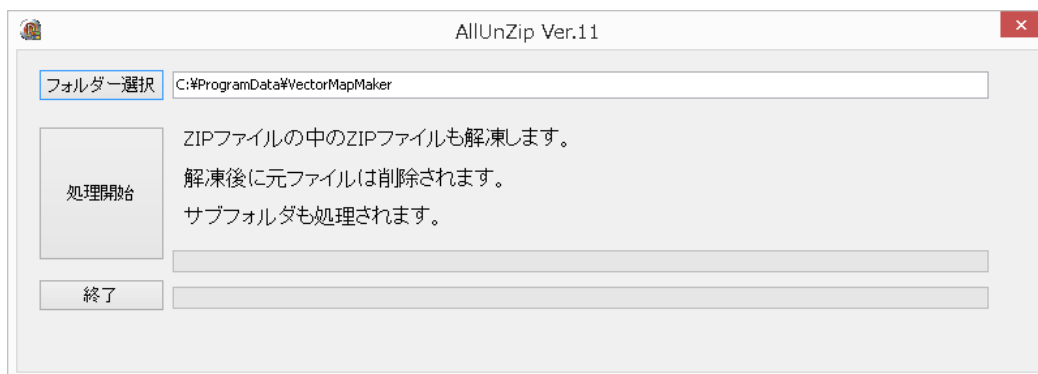


⑪ ファイル名を対象地域の名前に変更



(ウ)データの解凍

- ① RasterMapMaker に戻り **データの解凍** を選択、AllUnZip が起動します。データのフォルダーを選択し「開始」で解凍されます。



(解凍できなかったら P70 ヘルプ②)

### 3. とにかく作ってみる

#### (ア)基本設定

- ① 基盤地図情報フォルダ名の設定 地理院データフォルダ  
通常「RasterMapMaker¥基盤地図情報」を指定します。
- ② 書込フォルダの設定 書込フォルダ  
通常「RasterMapMaker¥地図」を指定します。

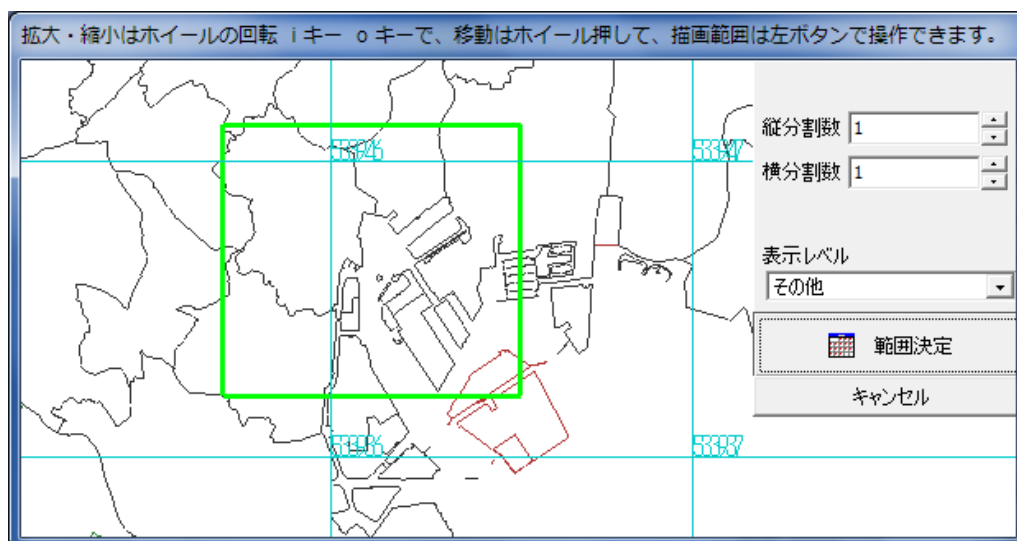
#### (イ)描画範囲指定

- ① 地図名の設定 地図名  
対象地域の地名などを設定します。この名前がファイル名にも使われます。

座標系の選択 座標系 第9座標系 東京都の本州部

対象地域の「座標系」か「緯度・経度」を選択します。

- ② 描画範囲の指定 地図で指定 を選択。



行政区画が表示されれば正常に動作しています。

(行政区画が正常に表示されない場合は P70 ヘルプ③)。

画像の拡大・縮小はマウスホイールの回転で行います。また、拡大・縮小したい位置にマウスをあわせ i、o キーでも操作できます。  
画像の移動はマウスホイールを押さえたままマウスを移動します。  
描画範囲は左ボタンを押した位置から、ボタンを離した位置までの範囲となります。

範囲指定ができたら



を選択

### ③ 処理開始



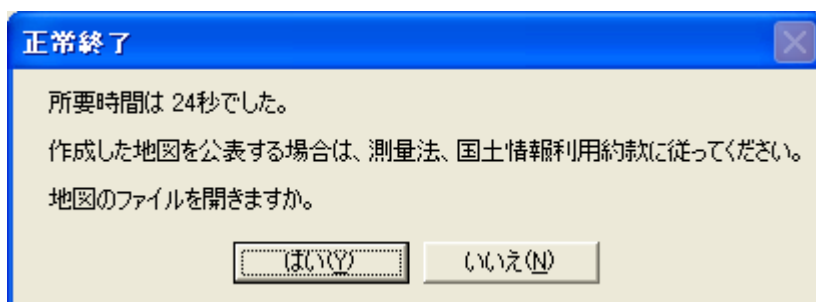
を選択します。

処理時間は対象により数秒から数十時間です

## 4. 成果品の利用

### (ア)静止画(BMP、GeoTIFF 形式)を閲覧する場合

地図が作成されると「地図のファイルを開きますか」と聞かれます。「y」を選択すると関連付けされたソフトが起動します。



また、作成した画像がクリップボードにコピーされますので、ワープロなどにも直接貼り付けられます。

正常に表示されないときは P70 ヘルプ④

### (イ)動画を閲覧する場合

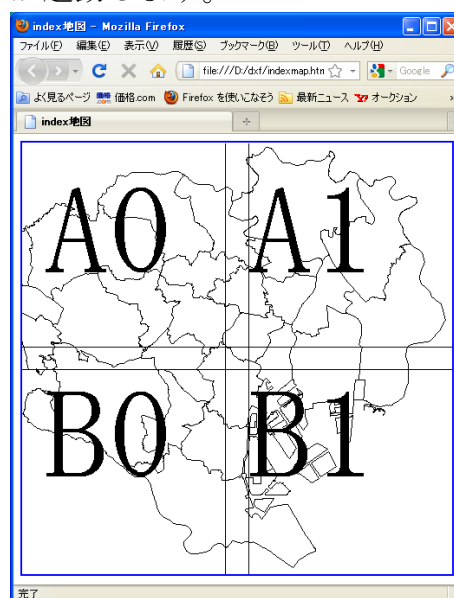
動画が作成されると「地図のファイルを開きますか」と聞かれます。「y」を選択すると AVI に関連付けされたソフトが起動します。

動画が再生されない時は P57

### (ウ)地図を分割作成した場合

地図が作成されると「目次ファイルを開きますか」と聞かれます。

「y」を選択するとブラウザ上にインデックス地図が表示されます。これをクリックすると各地図が表示されます。



### (エ)成果品のフォルダ

成果品は書込みフォルダで指定されたフォルダに保存されます。形式は BMP、AVI、GeoTIFF ですので、修正や合成など後処理が可能です。

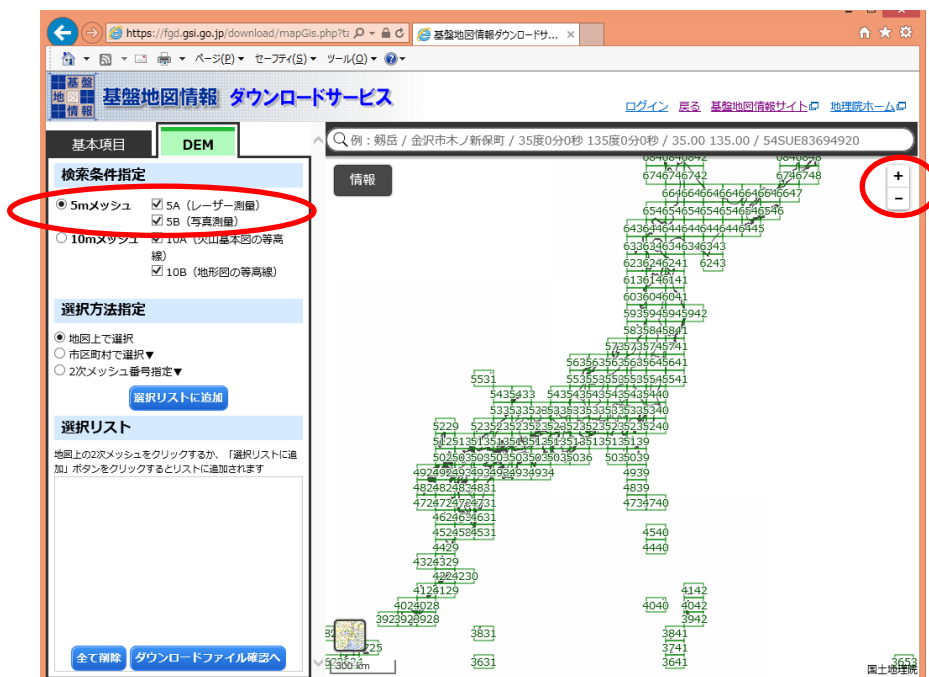
## 5. 標高データの入手

### (ア) 標高データのダウンロード

- ① **基盤地図情報ダウンロード** を選択
- ② 「**基盤地図情報 数値標高モデルのファイル選択へ**」を選択

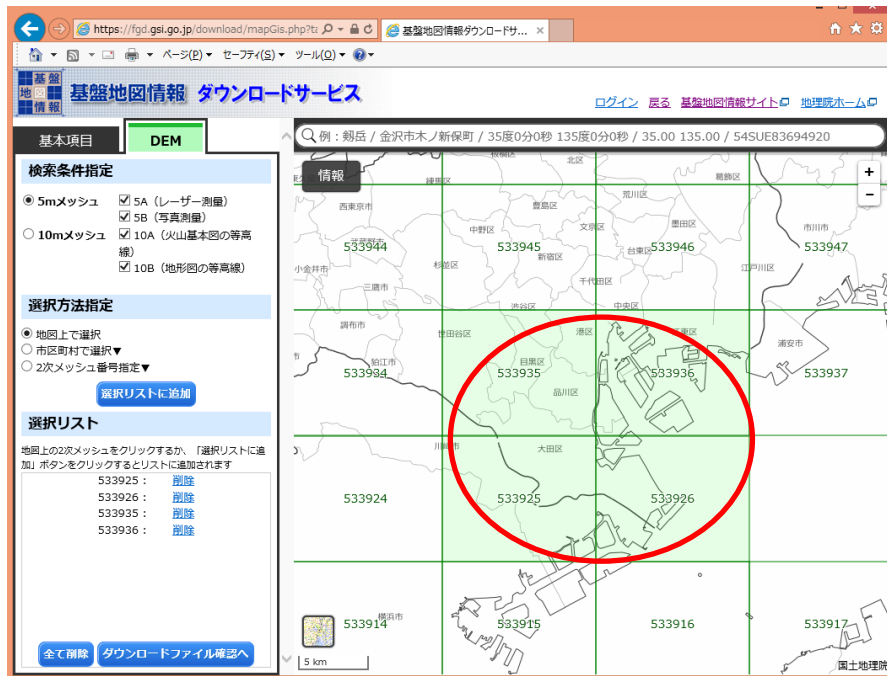


- ③ 「**5 m メッシュ**」を選択し対象地域を拡大





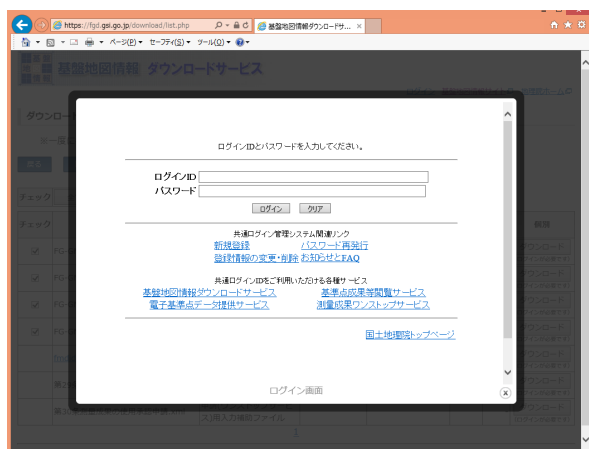
- ④ 対象データを選択し **ダウンロードファイル確認へ** を選択



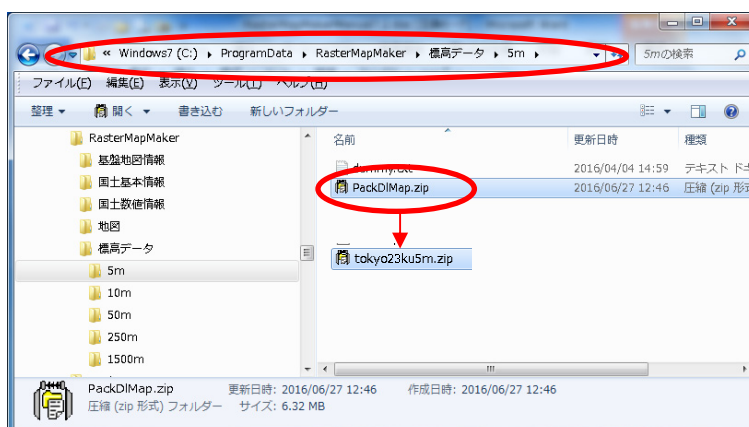
- ⑤ **全てチェック** を選択し、**まとめてダウンロード**。



- ⑥ 13 ページと同様にログインし、しばらく待つとダウンロードできます。

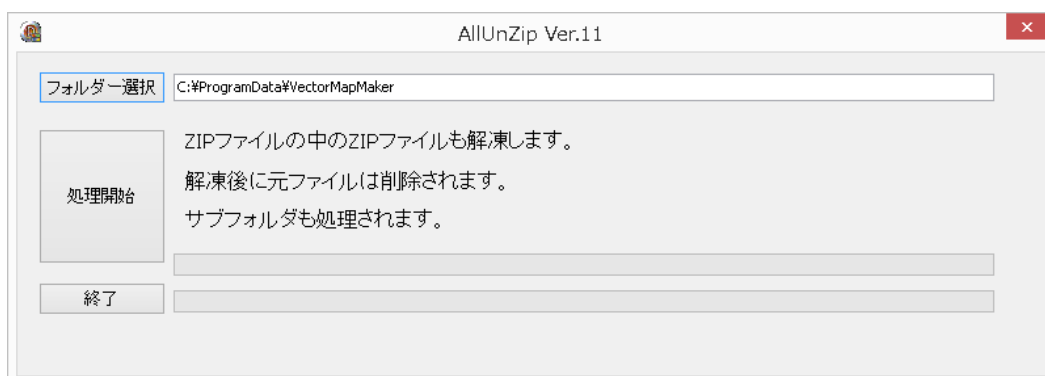


- ⑦ ダウンロードしたデータを RasterMapMaker¥標高データ¥5m に移動  
ファイル名を対象地域の名称に変更



(イ)一括解凍

16 ページと同様に解凍。



## 6. 標高図を作ってみる

### (ア) 静止画の標高図

- ① 標高データフォルダの設定

標高データフォルダ

通常「RasterMapMaker¥標高データ」を指定します。

- ② 標高メッシュの標高 Mesh 5m にチェックを入れます

標高メッシュ

<input checked="" type="checkbox"/>	標高Mesh 5m
<input type="checkbox"/>	標高Mesh 10m
<input type="checkbox"/>	標高Mesh 50m
<input type="checkbox"/>	標高Mesh 250m
<input type="checkbox"/>	標高Mesh1500m
<input type="checkbox"/>	陰影

- ③ 等高線 (Mesh5m より)  
にもチェックを入れます

等高線


<input checked="" type="checkbox"/>	等高線(Mesh 5mより)
<input type="checkbox"/>	等高線(Mesh 10mより)
<input type="checkbox"/>	等高線(Mesh 50mより)
<input type="checkbox"/>	等高線(Mesh 250mより)
<input type="checkbox"/>	等高線(Mesh1500mより)

線の太さ すべて細く

描画対象 すべての等高線

短い線の省略 すべて描画

- ④ ☒ 間隔・最下面自動設定 にチェック

- ⑤  処理開始 を選択します。

- ⑥ しばらく待つと、標高別に色分けされ、等高線の入った 6 ページの様な地図ができるはずです。

もしうまく出来なかった時は、P70 ヘルプ⑤⑥

## (イ)段彩陰影図

① 標高メッシュの「標高 Mesh 5m」にチェックを入れます

② 「陰影」にチェックを入れます

③ 地形に合わせ「山岳地」「平坦地」を選択

④ 「平坦地」モードでは色を濃くします。



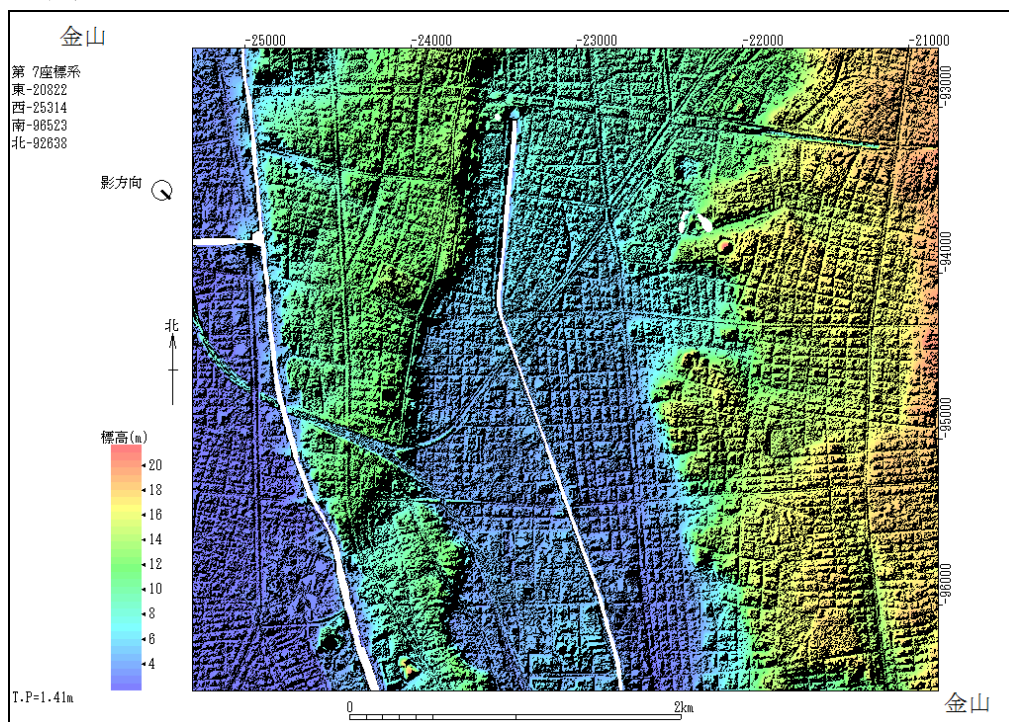
⑤  **処理開始** を選択します。



⑥ しばらく待つと、標高で色分けされ、  
陰影のついた地図が作成されます。  
もしうまく出来なかった時は、P70 ヘルプ⑤⑥

⑦ 陰影図には影方向の凡例が描画されます。

段彩陰影図（平坦地モード）の例 （国土地理院 承認番号 平 27 情使、第 701 号）



## (ウ)浸水動画


- ① 標高メッシュの標高 Mesh 5m にチェックを入れます

- ② 等高線 (Mesh5m より) にもチェックを入れます

- ③ 形式を動画にします

- ④ 開始水位を対象地域のいちばん低い高さにします。  
よく分からない時は、凡例最下面の値を入れてください

- ⑤ 最高水位を設定します。  
この値は非常に重要です、よく分からない場合は試験的に開始水位より  
10m上の値を設定してみましょう。

- ⑥  **処理開始** を選択します。

- ⑦ しばらく待つと、浸水の動画が作られます。  
パラメータを調整する事で、様々な浸水パターンを動画に出来ます。  
もしうまく出来なかった時は、P71 ヘルプ⑥⑦

- ⑧ これは標高だけを解析したシミュレーションです。  
実際の浸水状況は様々な要件を考慮しなければ判断できません。

## 7. 国土交通省の国土数値情報の入手

① 国土数値情報ダウンロード を選択

② 必要なデータを選択

描画できるのは、38 ページの「国土数値情報（国土交通省）」のシートに表示されているデータです。

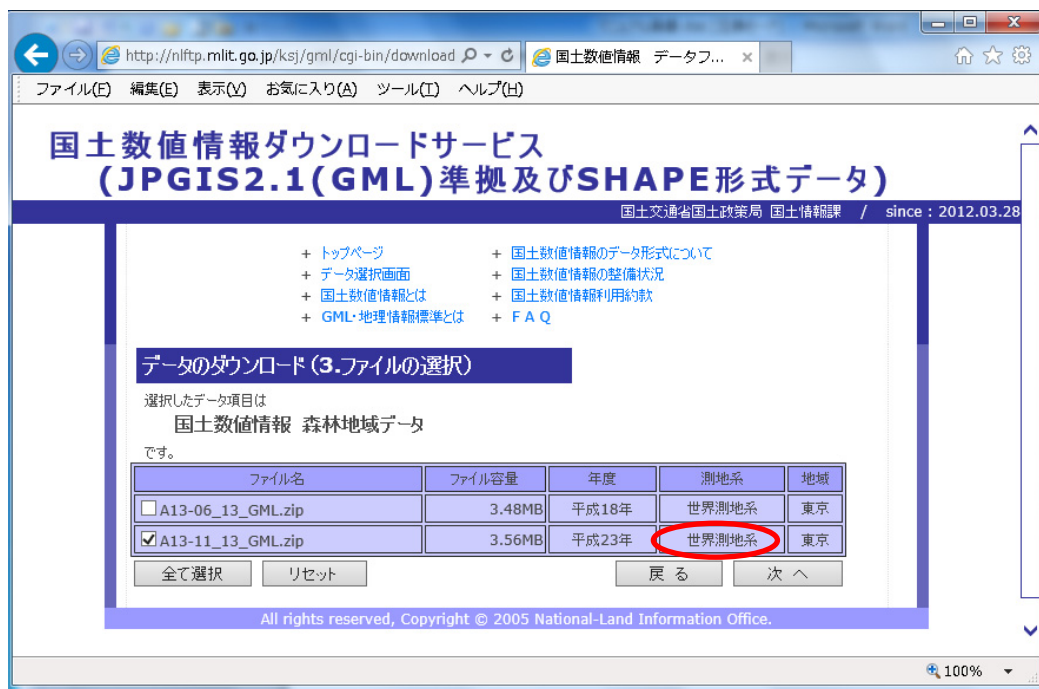


③ 必要な地域を選択

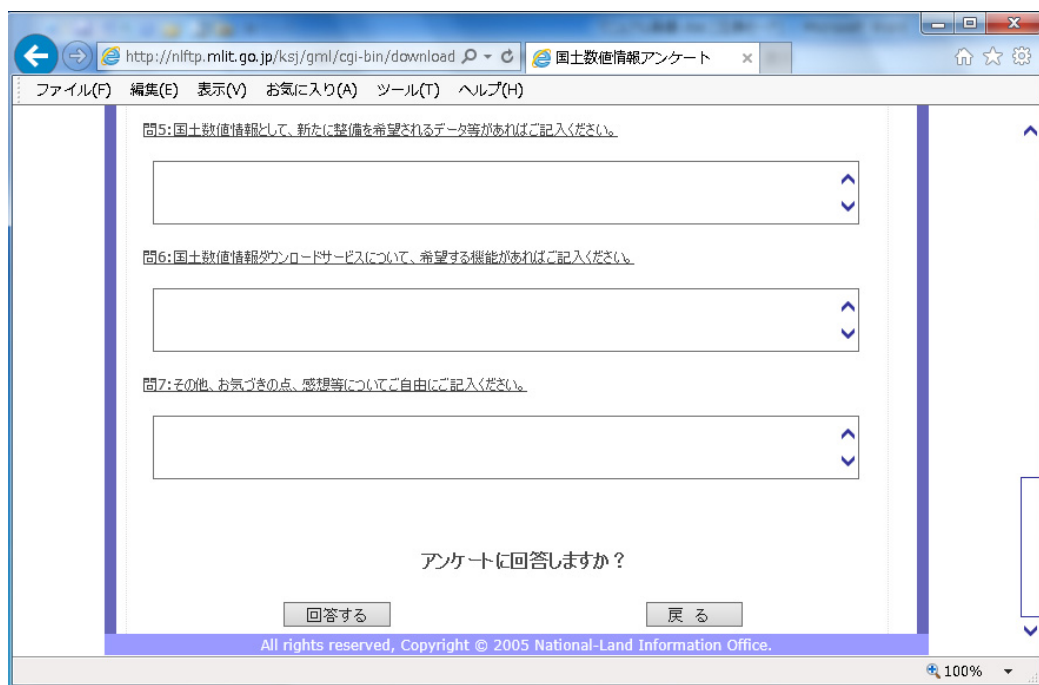




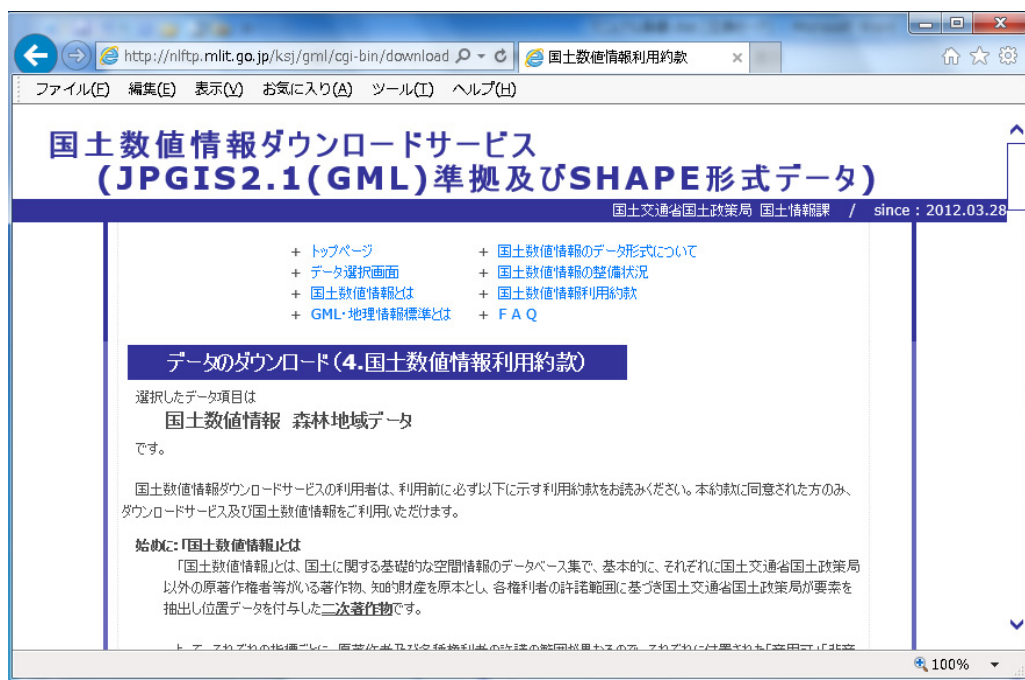
- ④ 利用するファイルを選択  
世界測地系のデータのみ利用可能です



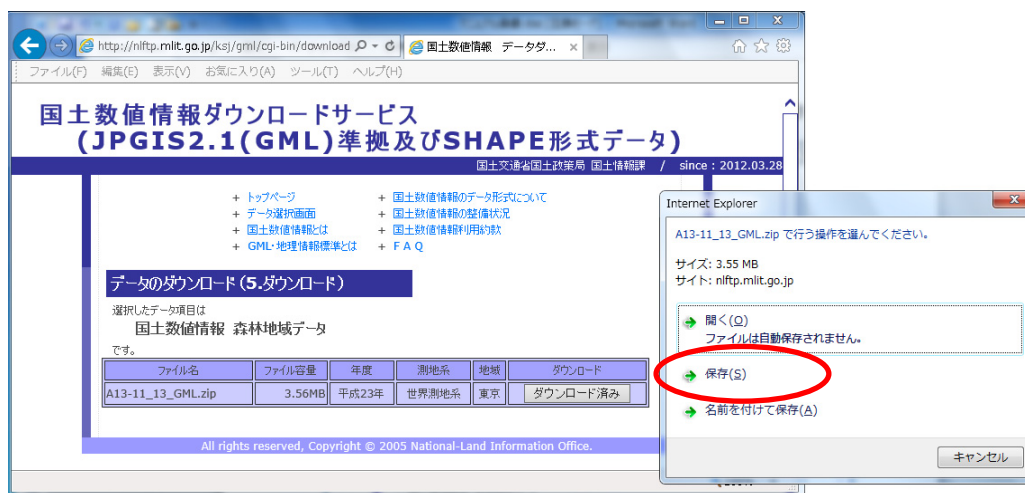
- ⑤ もしアンケートが表示されたらご協力をお願いします



⑥ 国土数値情報利用約款に同意しないとダウンロードできません

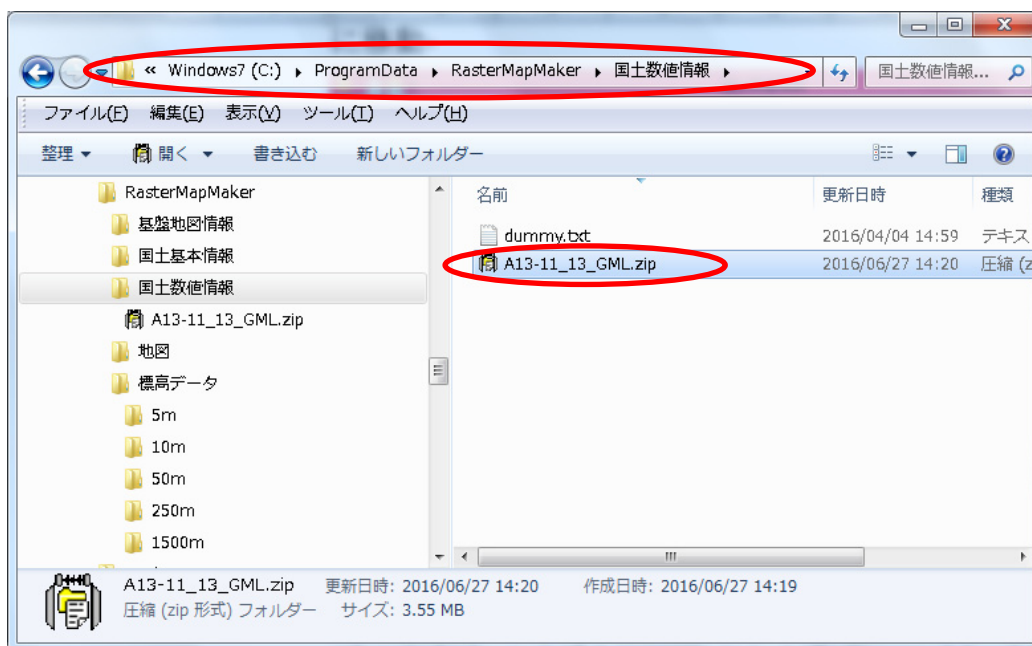


⑦ **ダウンロード** を選択



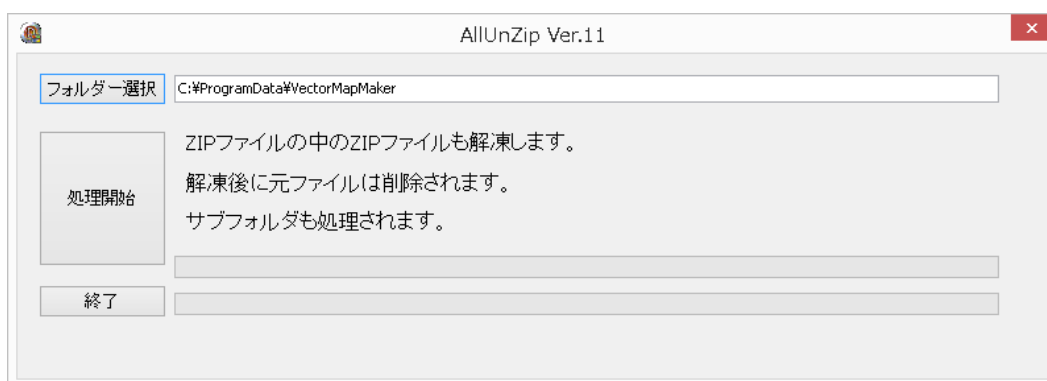


- ⑧ ダウンロードしたデータを「RasterMapMaker¥国土数値情報」フォルダに移動



- ⑨ データの解凍

データをすべてダウンロードしたら **RasterMapMaker** に戻り  
データの解凍 を選択、ALLUnZip が起動します。  
フォルダを選択し「開始」を選ぶだけで解凍されます。

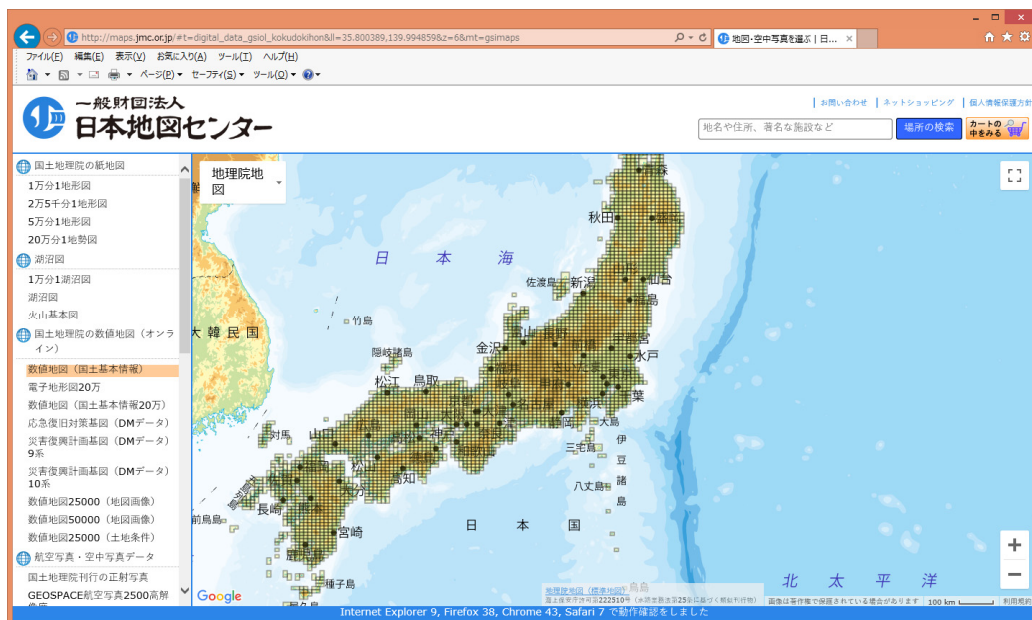


## 8. 国土地理院の国土基本情報の入手

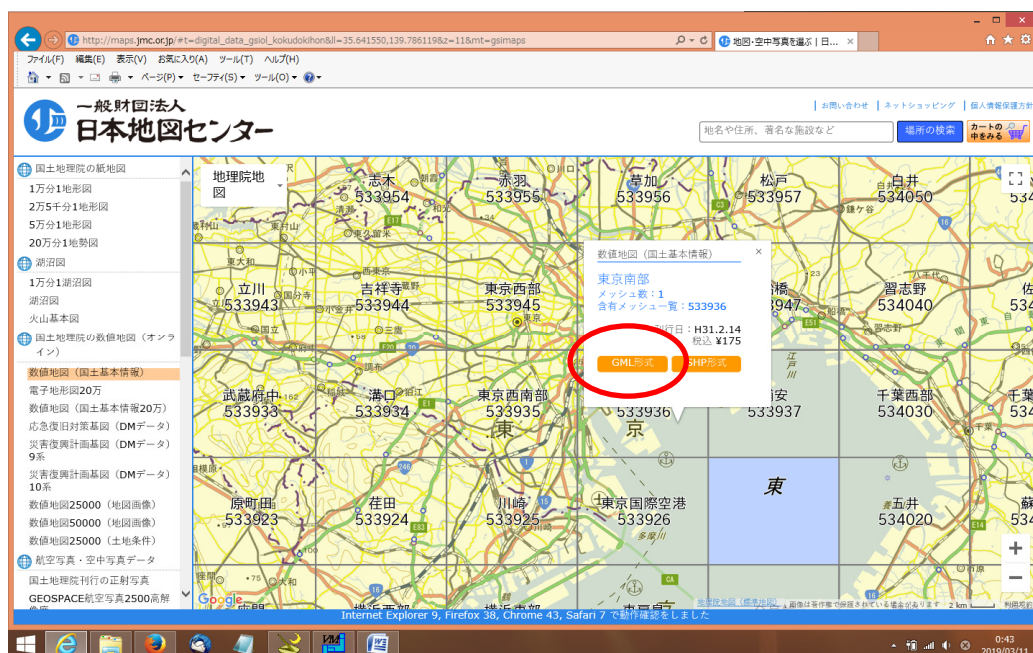
### ① 国土基本情報 販売ページ を選択



### ② 「地図から購入する」を選択



③ 描画に必要な区画を選択

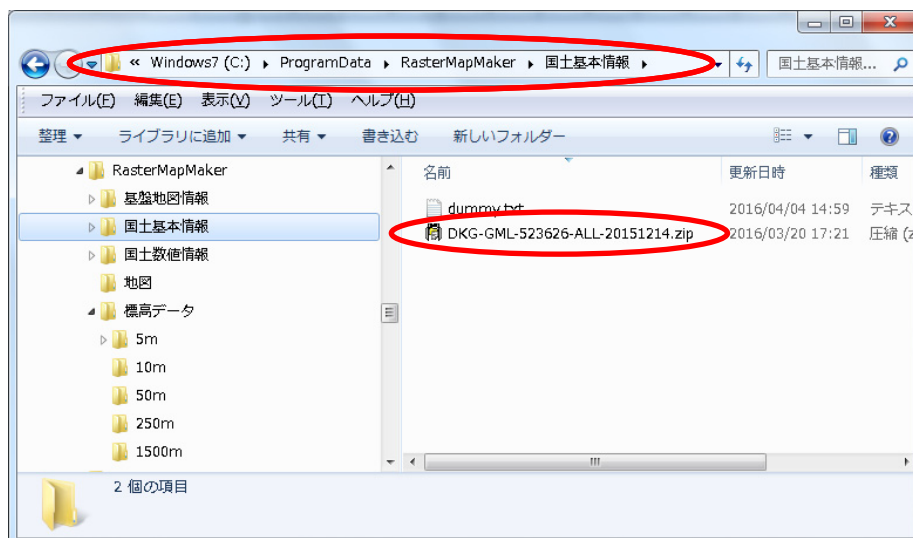


④ 「GML形式」を選択しデータをカートに入れる



⑤ データを購入すると、ダウンロード可能になります

⑥ データを「RasterMapMaker¥国土基本情報」フォルダに複写

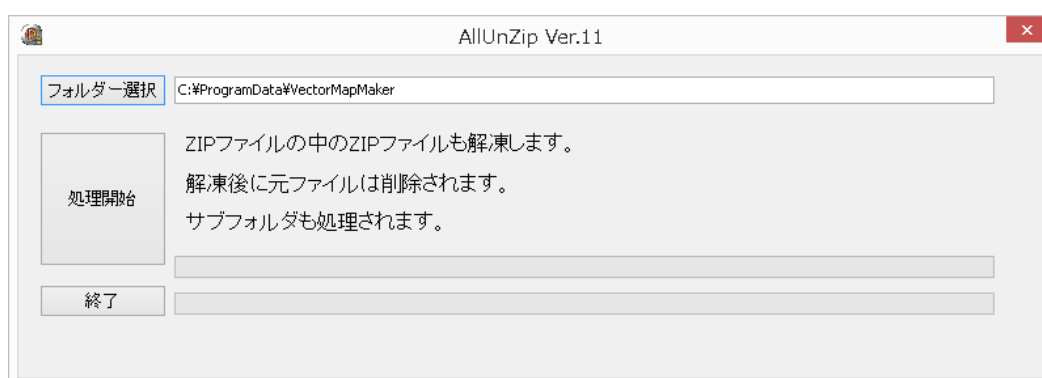


⑦ データの解凍

RasterMapMaker に戻り **データの解凍** を選択すると AllUnZip が起動します。

通常は「開始」を選ぶだけで解凍されます。

指定したフォルダの元データは削除されます。必ずバックアップを作成してください。

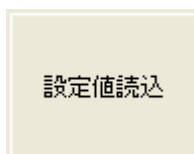


⑧ 描きたいデータを選択し「処理開始」をクリック

## 9. 設定方法

### (ア)設定値の読込、保存

#### ① 設定値読込

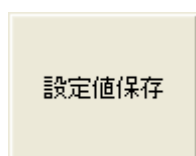


保存した設定を再現します。

「設定値読込」を選びファイルを選択します。

起動時には前回の処理の設定が再現されます。

#### ② 設定値保存



RasterMapMaker の設定をファイルに保存できます。

「設定値保存」を選びファイル名を付けて保存します。

### (イ)基本設定

#### ① 書込フォルダ名



作成した地図データを保存するフォルダを指定します。

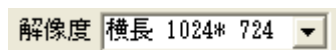
(通常は「RasterMapMaker¥地図」)

#### ② 形式



静止画(BMP 形式)、動画(AVI 形式)、静止画(GeoTIFF 形式)から選びます。

#### ③ 解像度



画像のサイズを選択します

④ 単位 単位 m ▼

範囲指定を数値で行うときや、標高関係の数値指定の単位を選択できます。描画範囲、標高基準面補正、標高間隔、標高最下面、開始水位、最高水位の設定値に影響します。単位を変更すると、これらの設定値も修正する必要があります。

⑤ サブフォルダも処理する ☒ サブフォルダも処理する

地図データのフォルダには通常サブフォルダが存在します。サブフォルダまで対象にする場合チェックを入れます。  
(通常はチェックを入れておきます)

(ウ)描画範囲の設定

① 地図名 地図名

地図の名称を設定します。

② 座標系 座標系 第9座標系 東京都の本州部 ▼

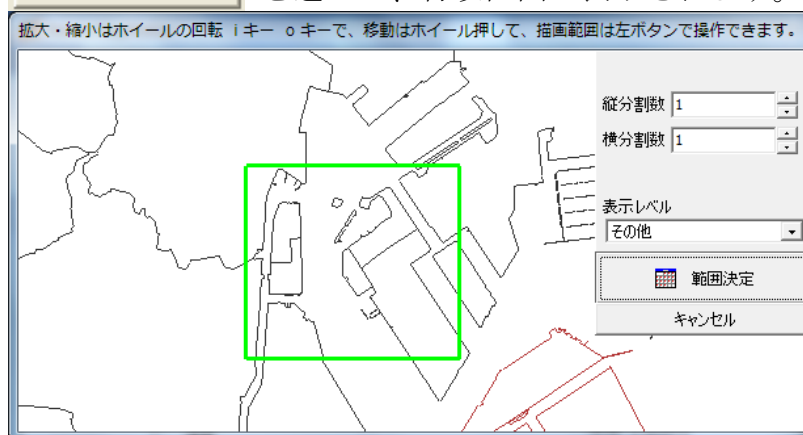
画像は平面直角座標系で描かれます。描く範囲によって適用する座標系が異なります。迷った時は 座標系適用範囲 を選び、座標系を選んでください。

県境などで迷う時は P71 ヘルプ⑩

③ 地図で指定

地図で指定

を選ぶと、行政区画が表示されます。

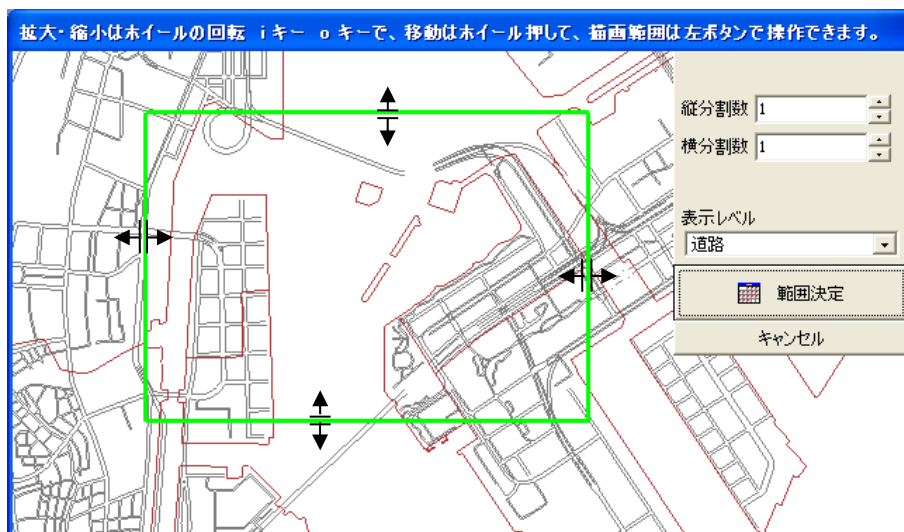




範囲指定の枠が赤く表示されたら p44 の様に占有メモリーを拡大します。マウスの右ボタンを押すと、標準地域メッシュが表示されます。広い範囲を表示している場合 4 桁表示ですが、表示を拡大していくと 6 桁、8 桁の表示に切り替わります。標高メッシュのファイル名にはこのメッシュ名が使われています。

表示レベルで「道路標示 (時間要します)」を選択すると道路が表示されます。

通常は表示までに 10 秒程度要します。(マシンによっては 1 分程度)



指定した範囲の枠の上にマウスポインタ合わせると、ポインタの形状が変わります。この状態で各辺を個別に修正できます。

#### ④ 「北端」「南端」「西端」「東端」

描画範囲を平面直角座標系の値で指定します。

数値指定は難しいので、通常は「地図で指定」を利用してください。

数値を直接指定する場合は「単位」を間違えないように注意してください。

北端	-80096	地図で指定	東端	-19259
西端	-45346		南端	-109358

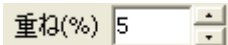
#### ⑤ 横分割数

横分割数	1
------	---

描画範囲を分割することで、一度に複数の地図を作成できます。

⑥ 縦分割数 

描画範囲を分割することで、一度に複数の地図を作成できます。

⑦ 重ね(%) 

地図を分割した場合、描画範囲を重ねる事で境界付近も読みやすくなります。

## (エ)描画制御

### 文字・地図記号の大きさ

地図記号や文字は図上に30m程度の大きさで描かれます。

この大きさを調整する倍率を設定します。

### オブジェクトの描画ランク

広い範囲を描画する場合に、細かな地物は描画しない様に制御できます。

縮尺のランク設定されている地物のみ制御可能です。

### 建築物描画ランク

建物の外周長さが指定以上の建物だけを描きます。

### 指定幅以上の道路中心を描画

広い範囲を描く場合、太い道路のみを描けます。

#### 文字・地図記号の大きさ

1.0

#### 基盤地図情報・国土基本情報

##### オブジェクトの描画ランク

すべて描画

##### 建築物描画ランク

外周 0 m以上

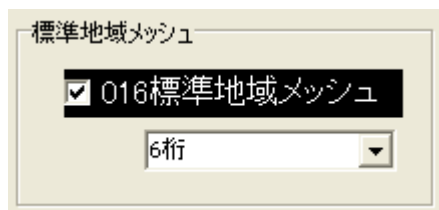
#### 国土基本情報

##### 指定幅以上の道路中心を描画

0.0 m以上



## (オ)標準地域メッシュ



標準地域メッシュ枠及び標準地域メッシュコードを描画します。  
コードは8桁、6桁、4桁から選択できます

### ① 色線種線選択

標準地域メッシュを右クリックすると色と線の太さを指定できます。

## (カ)基盤地図情報（国土地理院）

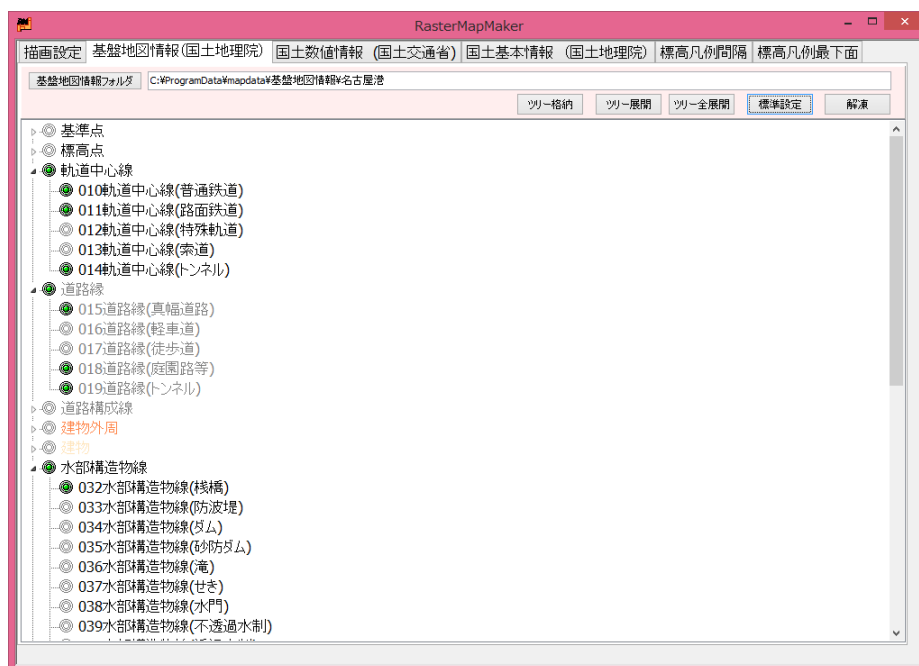
### ① 基盤地図情報フォルダ

基盤地図情報フォルダ

ダウンロードした基盤地図情報データの保存されているフォルダを指定します。通常は「RasterMapMaker¥基盤地図情報」

### ② 描画リスト

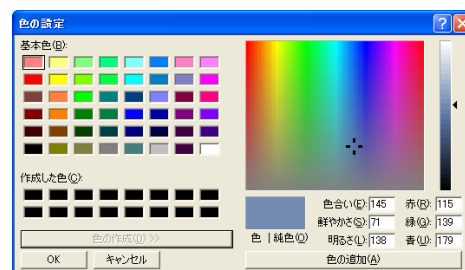
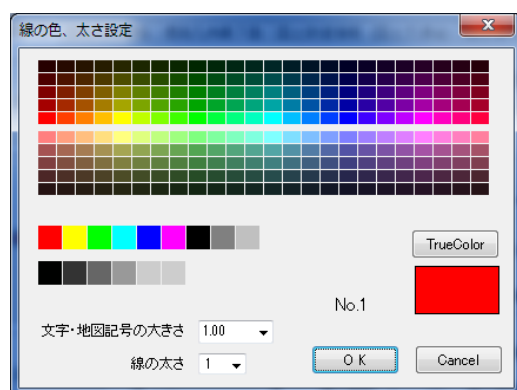
基盤地図情報（国土地理院）の中から、描画したいデータを選択し、チェックを入れます。チェックを入れた項目が描画されます。



### ③ 線の色、太さ設定

描画リストを右クリックすると線の色と太さを指定できます。

TrueColor をクリックすると、フルカラーの中から自由に色を選べます。



## (キ) 国土数値情報（国土交通省）

### ① 国土数値情報フォルダ

国土数値情報フォルダ

ダウンロードした国土数値情報データの保存されているフォルダを指定します。（通常は「RasterMapMaker¥国土数値情報」）

### ② 描画リスト 使い方は基盤地図情報と同じ



## (ク)国土基本情報（国土地理院）

### ① 国土基本情報フォルダ

国土基本情報フォルダ

ダウンロードした国土基本情報データの保存されているフォルダを指定します。（通常は「RasterMapMaker¥国土基本情報」）

### ② 描画リスト 使い方は基盤地図情報と同じ



### ③ レイヤーの全解除

設定値読込で **Checkclear.vmm** を読み込むと全てのレイヤーのチェックが消えます。他のパラメータは保持されますが、地図名は消えますので再度設定してください。

設定値読込

### ④ 国土基本情報の標準色設定

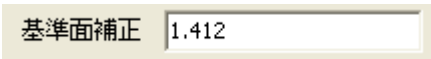
標準設定をクリックすると国土基本情報の色と線の太さ、文字・地図記号の大きさが標準的な設定になります。  
他のパラメータは保持されます。

## (ケ)標高設定

標高メッシュは地盤高を色で表現します。配色は凡例数、凡例最下面、凡例間隔によって決まります。慣れるまでは自動設定の利用をお奨めします。

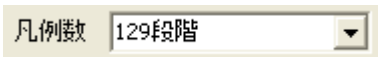
等高線は地盤高を線で表現します。標高メッシュと同時に描く場合黒い線で、単独で描く場合は高さ別の色で着色されます。等高線の間隔は凡例間隔の値が使われます。

- ① 標高データフォルダ 
- 標高データの保存されているフォルダを指定します。  
(通常は「RasterMapMaker¥標高データ」)


- ② 基準面補正 
- 何も指定しなければ東京湾中等潮位 T.P を標高の基準にします。  
別の基準面で作成したい場合に補正值を設定します。  
たとえば名古屋港基準面の場合、基準面補正值は 1.412(m)  
標高メッシュ、等高線、多角点、標高点は補正後の値で描かれます。  
凡例最下面、最高水位、開始水位は補正後の値を設定して下さい。

- ③ 凡例色
- 標高色が淡い色で表現できるようにしました。



- ④ 凡例数 

分割数は 2 段階から 1 2 9 段階まで。

- ⑤ 間隔・最下面自動設定 
- 指定された描画範囲の地形から、標高間隔・標高最下面を自動的に設定します。  
地図を分割した場合、地図毎に設定されます。

## ⑥ 凡例間隔

河川や池、段丘など特別な地形を多く含む場合や、特定の高さで解析したい場合、凡例間隔の自動設定値を補正バーで調整できます。



さらに詳細に調整したい場合、「凡例間隔」シートで数値指定できます。シート上で値を設定すると自動設定は解除されます。

RasterMapMaker - 国土基本情報標準.vmm		
描画設定 基盤地図情報(国土地理院) 国土数値情報(国土交通省) 国土基本情報(国土地理院) 標高凡例間隔 標高凡例最下面		
間隔(m)	0	1
A	0.2	0.1
B	0.2	0.3

空白のセルは1 mと見なされます。

シート上では複数のセルを範囲指定し、コピー（Ctrl+C）、ペースト（Ctrl+V）が可能です。単位に注意して下さい。

## ⑦ 凡例最下面

河川や池、段丘など特別な地形を多く含む場合や、特定の高さを解析したい場合、凡例最下面の自動設定値を補正バーで調整できます。



さらに詳細に調整したい場合、「凡例最下面」シートで数値指定できます。シート上で値を設定すると自動設定は解除されます。

RasterMapMaker - 国土基本情報標準.vmm		
下面(m)		
0	1	
A	14.00	14.20
B	14.5	13.5

空白のセルはT.P（東京湾中等潮位）と見なされます。

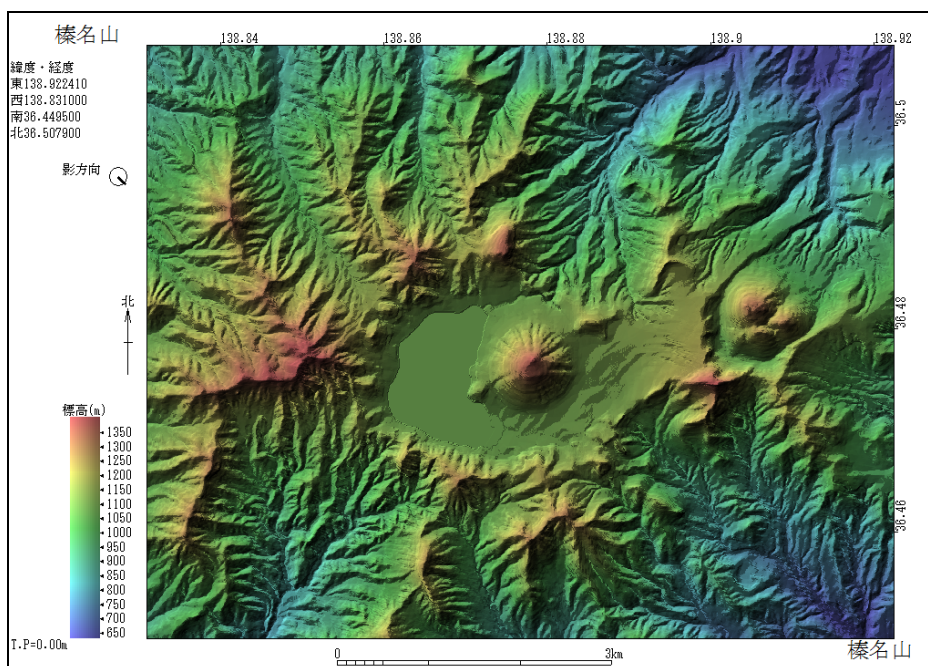
シート上ではコピー（Ctrl+C）、ペースト（Ctrl+V）が可能です。

## (コ)標高メッシュ

- ① 描画に利用するメッシュサイズを選択します。



- ② 「陰影」にチェックを入れると段彩陰影図を作成します。
- ③ 陰影の種類は「山岳地」「平坦地」から選択できます。
- ④ 「影の量」を調整できます。
- ⑤ 「影の方向」を調整できます。  
北を上にして地図を見る場合、影を南方向に設定すると自然に見えます。  
(国土地理院 承認番号 平 27 情使、第 701 号)





## (サ)等高線

- ① 描画に利用するメッシュサイズを選択します。



- ② 線の太さ

等高線の太さを選択

50m 毎、100m 毎など、きりの良い等高線だけを太くします。

標高凡例最下面、標高凡例間隔を調整し、きりの良い等高線が生成される様にする必要があります。

等高線を太くするときは、標高凡例最下面、標高凡例間隔を手動で調整してください。

- ③ 描画対象

窪地以外、すべての等高線、窪地のみ、窪地（面描画）から選択できます。

窪地は等高線の中から窪地だけを抽出する機能です。

窪地を描画する場合、標高間隔が大きいと窪地を見落とす事があります、間隔は0.1m程度の小さな値にして下さい。

- ④ 短い線の省略

小さな窪地など、短い等高線を省略します。

## (シ) 浸水動画の設定

### ① 最高水位 (m)

浸水時に想定される最高水位を設定します。

公表されている高潮や津波などの予測水位や過去に経験した災害時の水位などから最高水位を設定してください。最高水位の値は非常に重要です。

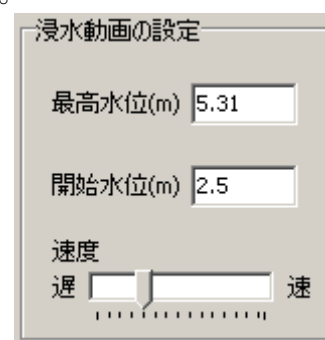
### ② 開始水位 (m)

浸水動画の始まりの水位を決めます。対象地域のいちばん低い標高や平均海面、日常的な満潮位などから設定してください。

### ③ 速度

1 秒間に 1 段階から 30 段階まで選べます。

凡例数が少ないときは遅くします。

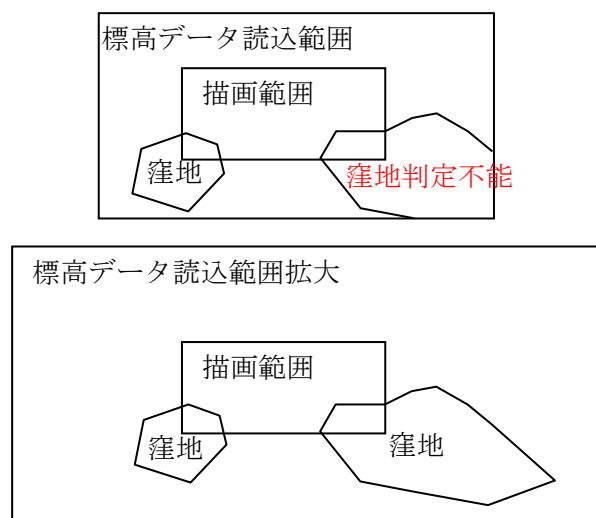


## (ス) 占有メモリーの拡大

窪地を抽出する時は占有メモリーを拡大し、描画範囲の周囲の標高データを広く取り込むと、窪地の取りこぼしが減ります。

また、「範囲が広すぎます」という警告が表示されたり、範囲指定の枠が赤く表示された時は、占有メモリーを拡大します。

窪地抽出時のデータ読込範囲のイメージ



- ① 占有メモリーを拡大するには最初に、他のアプリケーションを終了します。
- ② 次に「Ctrl」と「Alt」を押しながら **バージョン情報** のボタンをクリック、ダイアログボックスが表示されますので、メモリー拡大率を設定します。



占有メモリーを拡大してもまだメモリーが不足している場合、等高線と標高メッシュの配分を等高線側に設定して利用して下さい。  
図面の描画処理が終了したら占有メモリーは初期状態に戻されます。

#### (セ)その他の機能

- ① データの解凍

データの解凍

基盤地図情報はたくさんのファイルを解凍する必要があるので、一括して解凍できるようになっています。

- ② 掲示板

掲示板

ソフトウェアの疑問点などをご記入ください。出来るだけ迅速に回答いたします。  
障害情報などをお知らせください、ソフトウェアの改良に努めます。

- ③ バージョン情報

バージョン情報

ソフトウェアのバージョンを確認できます。

- ④ 国土地理院 基盤地図情報のダウンロード

基盤地図情報ダウンロード

基盤地図情報のダウンロードページを開きます。

⑤ 測量成果の使用承認申請

測量成果の使用承認申請

基盤地図情報の承認申請のホームページが表示されます。



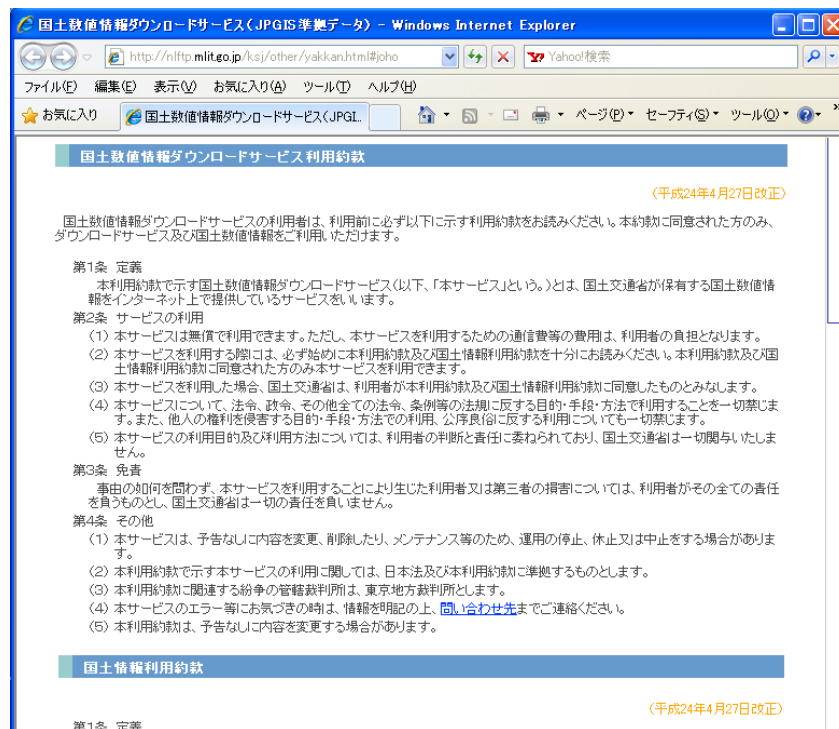
⑥ 国土数値情報ダウンロード

国土数値情報ダウンロード

⑦ 国土数値情報 利用約款

国土数値情報 利用約款

利用約款が表示されます



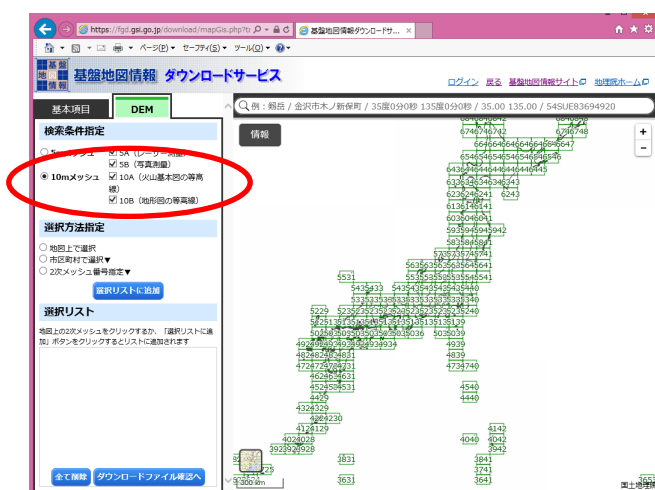
## 10. 10mメッシュの標高データの入手

基盤地図情報では日本全土で 10m メッシュ標高データも公表されています。  
5m メッシュがない場合は 10mメッシュを利用してください。

- ① **基盤地図情報ダウンロード** を選択
- ② 地理院 HP が表示されたら「数値標高モデル ファイル選択へ」を選択



- ③ 「10mメッシュ」の「10B（地形図の等高線）」を選択し、5 mメッシュと同様にダウンロード。



- ④ ダウンロードしたデータを RasterMapMaker¥標高データ¥10m に移動。
- ⑤ 16 ページと同様に解凍。

## 11. 広域標高解析（50m、250mメッシュ）

国土地理院から提供される 10mメッシュ標高データから 50mメッシュ、250mメッシュを作成し、広域の標高図や等高線図を描くことができます。  
広域図はゆがみが大きいので高精度の用途には向いていません。

### （ア）10m メッシュ標高データの準備

描きたい範囲の 10m メッシュ標高データを準備します。（47 ページ参照）

### （イ）メッシュ変換

左下の **メッシュ変換** を選択すると、DemCollector が起動します。

読み込みフォルダに変換元のデータのフォルダを指定します。

書き込みフォルダに作成するデータの書き込みフォルダを指定します。

作成サイズを指定します。

データ種別を選択します。

**処理開始**

を選択すると数十分で変換されます。



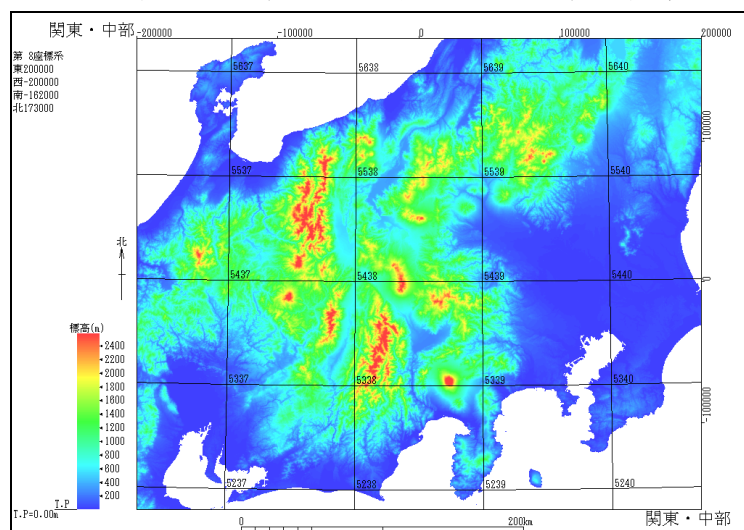
## (ウ)広域標高図の作成

標高設定の標高メッシュで **50m** または **250m** を選択。

標高データフォルダに標高データのフォルダを指定

あとは通常の標高図と同じ操作です。(p23 を参照)

(国土地理院 承認番号 平 27 情使、第 701 号)



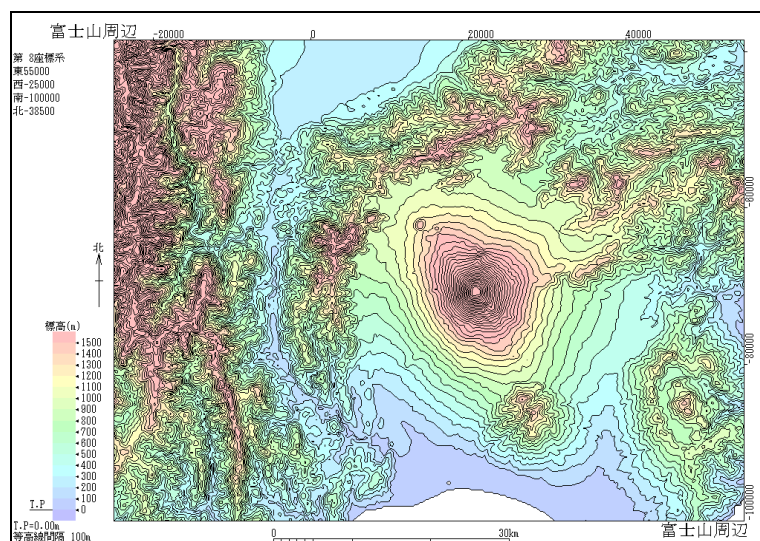
## (エ)広域等高線図の作成

標高設定の等高線で **50m** または **250m** を選択。

標高データフォルダに標高データのフォルダを指定

あとは通常の等高線図と同じ操作です。(p23 を参照)

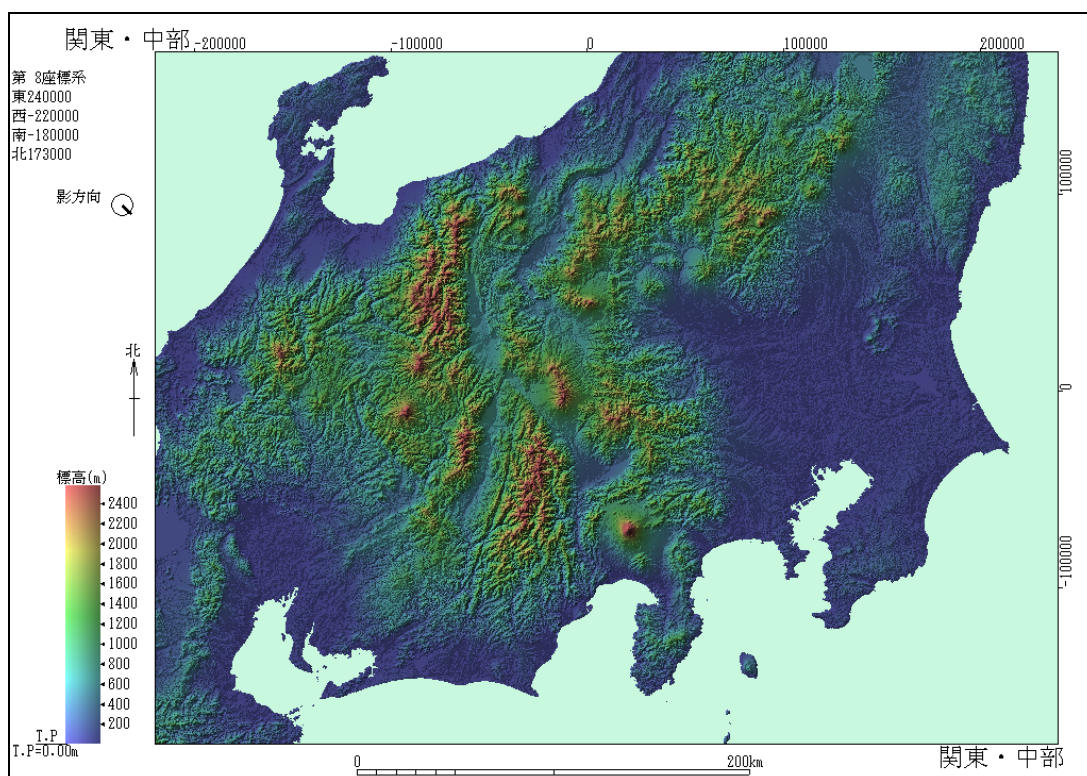
(国土地理院 承認番号 平 27 情使、第 701 号)



### (オ) 広域段彩陰影図の作成

標高設定の標高メッシュで **50m** または **250m** を選択。  
標高データフォルダに標高データのフォルダを指定  
陰影にチェックを入れ、山岳地を選択  
あとは通常の標高図と同じ操作です。(p23 を参照)

(国土地理院 承認番号 平 27 情使、第 701 号)



### (カ) 広域段彩陰影図の動画作成

標高設定の標高メッシュで **50m** または **250m** を選択。  
標高データフォルダに標高データのフォルダを指定  
陰影にチェックを入れ、山岳地を選択  
あとは通常の浸水動画と同じ操作です。(p25 を参照)

## 12. 広域標高解析 (1500m メッシュ)

National Geophysical Datacenter より提供される 1 分 (1500m) メッシュ標高データから、世界中の標高図や等高線図を描くことができます。  
広域図はゆがみが大きいので高精度の用途には向いていません。

### (ア)標高データの準備

**ETOPO Download** を選択し、**etopo1\_ice\_c\_f4.zip** のデータをダウンロードします。  
370M バイトのデータですので、時間を要します。  
これを解凍し **RasterMapMaker**¥標高¥1500m に保存します。

### (イ)座標系の選択

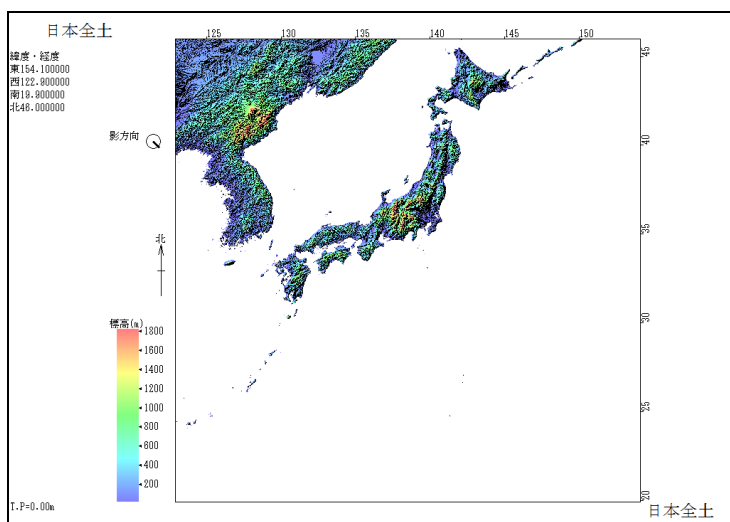
描画範囲の中央に近い座標系や「緯度・経度」から選択

### (ウ)標高 Mesh、等高線の選択

☒ 標高Mesh1500m や ☒ 等高線(Mesh1500mより) を選択

### (エ)描画範囲の指定

南半球の緯度はマイナスの値で指定します。  
他の設定は標高メッシュ 5 m、1 0 m の場合と同じです。  
標高 - 4 m 以上のメッシュを描きます。



### 13. 作成のコツ

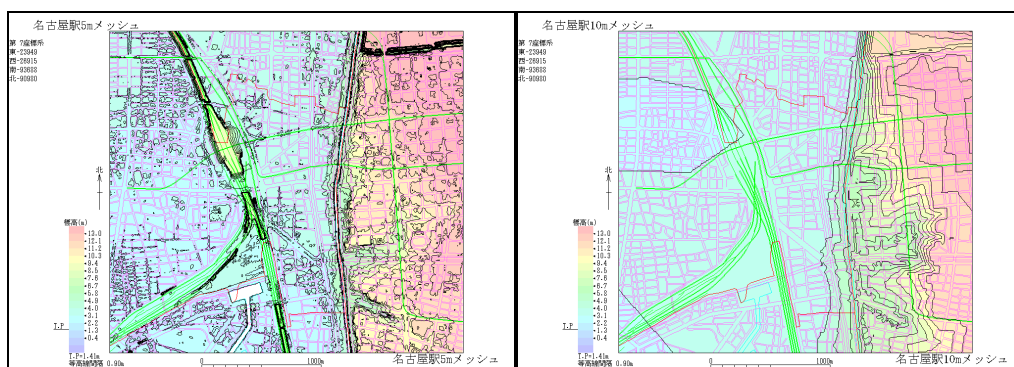
#### (ア)標高図のコツ

- ① 標高メッシュ 5m を使うと精密な標高図が出来ますが、一度に広い範囲は処理できません。占有メモリの拡大を行っても処理できない時は、分割機能を利用して下さい。

10m メッシュは平坦で狭い範囲の描画には向いていません。

5 m メッシュ標高図

10mメッシュ標高図

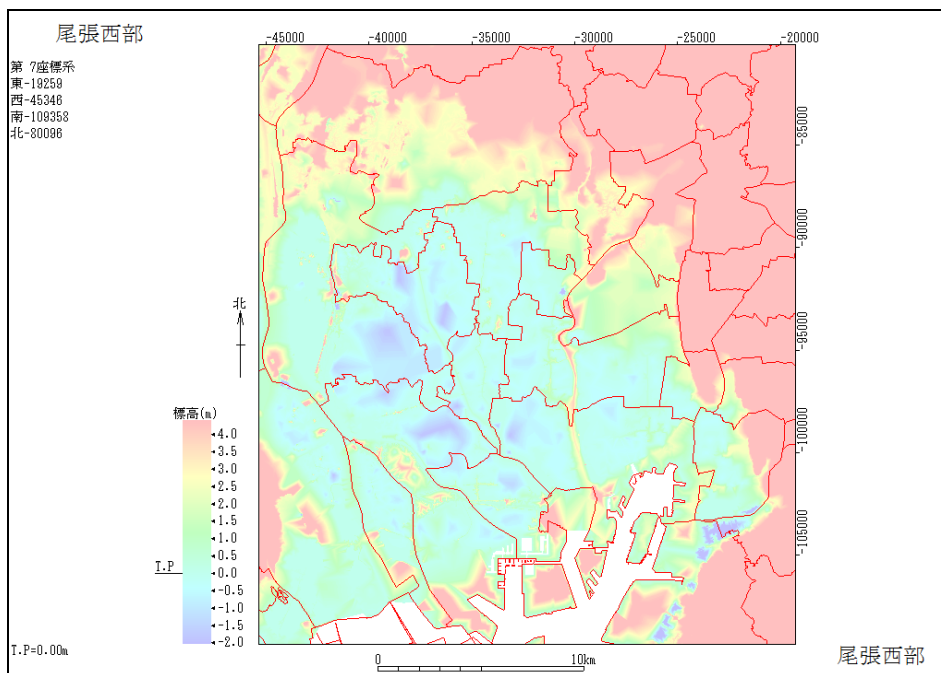


(国土地理院 承認番号 平 27 情使、第 701 号)

- ② 大きい標高メッシュを使うと広い範囲の処理が可能です。占有メモリ不足のメッセージが表示されたら、占有メモリの拡大を行ってみて下さい。

10mMesh、1G バイトのメモリーで、1500 平方キロが処理できました。

標高図：尾張西部 (国土地理院 承認番号 平 27 情使、第 701 号)

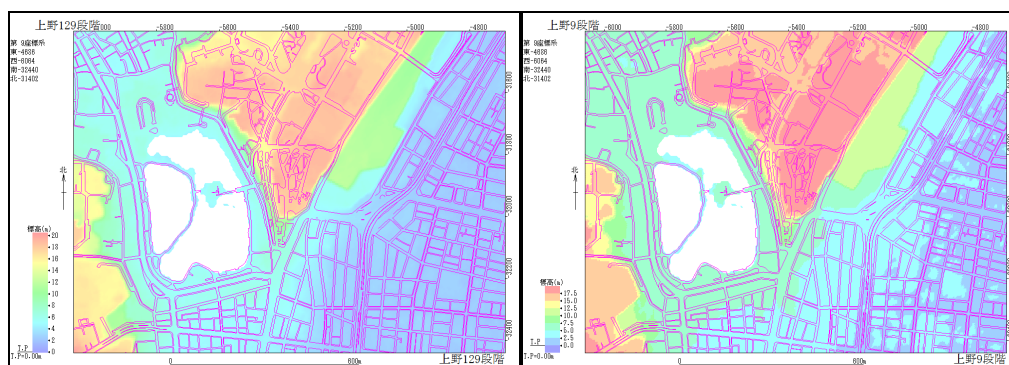




- ③ 凡例数を多くすると色の変化が微小となり、現実の標高を正確に表現出来ます。しかし、低地や高地の境界がはっきりしなくなります。  
凡例数を少なくすると、凡例毎の識別が容易になります。

標高図 129 段階

標高図 9 段階

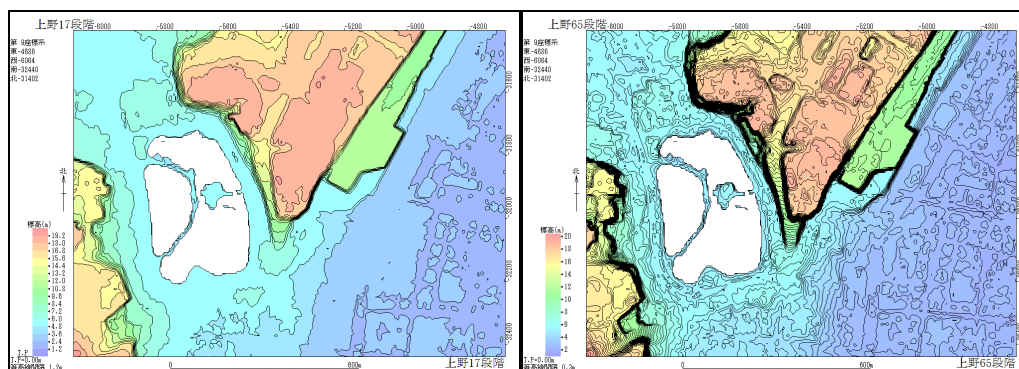


(国土地理院 承認番号 平 27 情使、第 701 号)

- ④ 標高図に等高線を加えると、各標高の輪郭がはっきりして見やすくなります。ただし、17 段を超える凡例数では、等高線が多くなりすぎます。

等高線図 17 段階

等高線図 6 5 段階



(国土地理院 承認番号 平 27 情使、第 701 号)

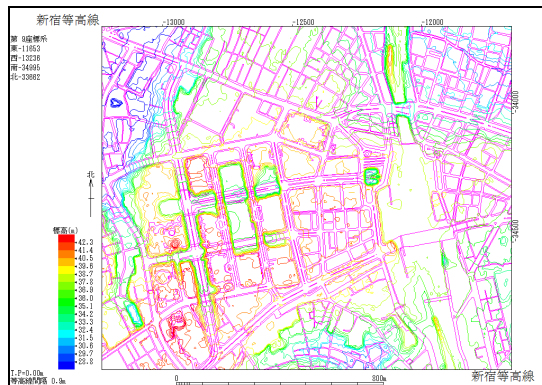
- ⑤ 標高差の大きい地形で、平坦部だけを解析したい場合などは、補正バーで凡例間隔を小さくしてみてください。
- ⑥ 三角点・水準点も描くと所々に標高が表示されるので参考になります。  
データは基盤地図情報の GCP の文字が入ったファイルです。

## (イ)等高線図のコツ

- ① 線の太さ、標高間隔を調整し、5本に1本程度太線にすると見やすいです。
- ② 5mメッシュデータでは精密な等高線を描くことが出来ますが、広い範囲を描くと占有メモリー不足と表示される事があります。占有メモリーを拡大しても描けない時は、分割機能を利用して下さい。
- ③ 10mメッシュは広い範囲を描く事ができますが、平坦地の等高線描画には向いていません。
- ④ 標高メッシュと同時に描くと等高線は黒色で、標高面の輪郭となります。単独で描くと標高別の色で描かれます。この場合、凡例色を濃くしたほうが見やすくなります。
- ⑤ 道路は紫色か灰色をお奨めします。標高凡例では紫は使っていません。

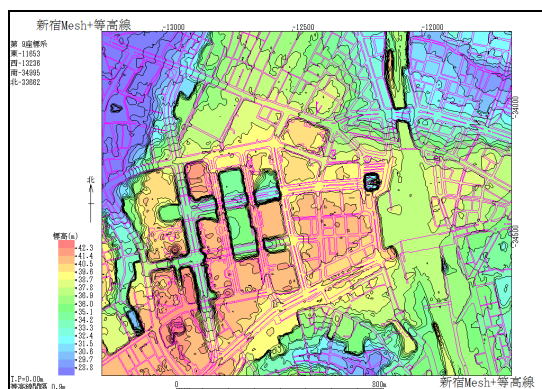
等高線図

(国土地理院 承認番号 平 27 情使、第 701 号)



等高線+標高図

(国土地理院 承認番号 平 27 情使、第 701 号)





(ウ)窪地図のコツ

- ① メッシュ標高のチェックは全て外します

- ☐ 標高Mesh 5m
- ☐ 標高Mesh 10m
- ☐ 標高Mesh 50m
- ☐ 標高Mesh 250m
- ☐ 標高Mesh1500m

**等高線**

☒ 等高線(Mesh 5mより)

☐ 等高線(Mesh 10mより)

☐ 等高線(Mesh 50mより)

☐ 等高線(Mesh 250mより)

☐ 等高線(Mesh1500mより)

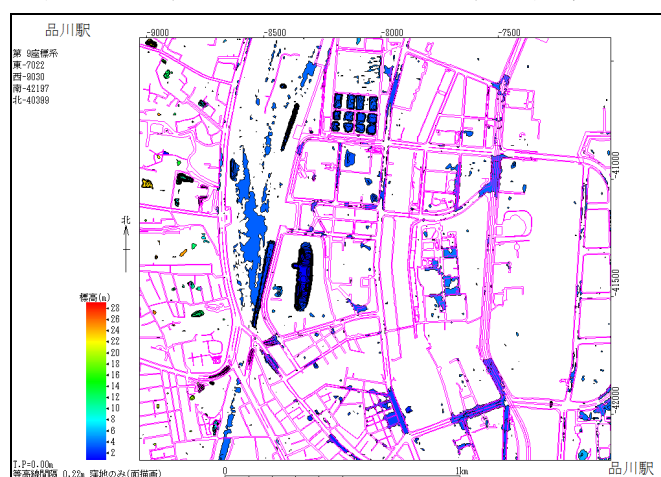
線の太さ すべて細く

描画対象 窪地のみ(面描画)

短い線の省略 すべて描画

- ② 等高線（Mesh○○m より）にチェックを入れます
- ③ 凡例色を濃くします。
- ④ 等高線の描画対象は「窪地のみ(面描画)」を選択
- ⑤ 一旦、間隔・最下面自動設定で処理
- ⑥ 次に標高凡例間隔を 0.1m 程度になるよう凡例数を選択
- ⑦ 窪地の動画は作れません。窪地、山地の作成では静止画を選択して下さい。
- ⑧ 窪地を塗り潰したくない場合は「窪地のみ」を選択して下さい。

窪地図 (国土地理院 承認番号 平 27 情使、第 701 号)



## (エ) 浸水動画のコツ

- ① 画像の解像度を選びます。

解像度 4:3 800\* 600 ▼

- ② 凡例数を選びます。凡例数が多ければ滑らかなアニメーションになりますが、データも大きくなります。

凡例数 129段階 ▼

- ③ 自動設定にチェックを入れると、開始水位から最高水位までを凡例数で分割します。 ☒ 間隔・最下面自動設定

- ④ 最高水位、開始水位を設定します。津波や高潮の範囲を想定する場合最高水位が非常に重要ですが、これは利用者が設定して下さい。

浸水動画の設定

最高水位(m) 5.31

開始水位(m) 2.5

速度

遅 [ ] 速

- ⑤ 速度は凡例数が多い場合早めに、少ない場合遅めにして下さい。  
1 fps から 30fps まで選べます。

- ⑥ 標高メッシュを選択します。

- ⑦ 陰影もつけられます

標高メッシュ	等高線
<input type="checkbox"/> 標高Mesh 5m	<input type="checkbox"/> 等高線(Mesh 5mより)
<input checked="" type="checkbox"/> 標高Mesh 10m	<input checked="" type="checkbox"/> 等高線(Mesh 10mより)
<input type="checkbox"/> 標高Mesh 50m	<input type="checkbox"/> 等高線(Mesh 50mより)
<input type="checkbox"/> 標高Mesh 250m	<input type="checkbox"/> 等高線(Mesh 250mより)
<input type="checkbox"/> 標高Mesh1500m	<input type="checkbox"/> 等高線(Mesh1500mより)
<input checked="" type="checkbox"/> 陰影	線の太さ すべて細く ▼
影の量 多 標準 少	描画対象 すべての等高線 ▼
影の方向 西 南 東 北 西	短い線の省略 すべて描画 ▼

- ⑧ 等高線を選択すると、水際線を黒く描きます。

(オ)動画が再生できない場合

Windows8 で動画ファイル(拡張子が.avi のファイル)が再生できない場合

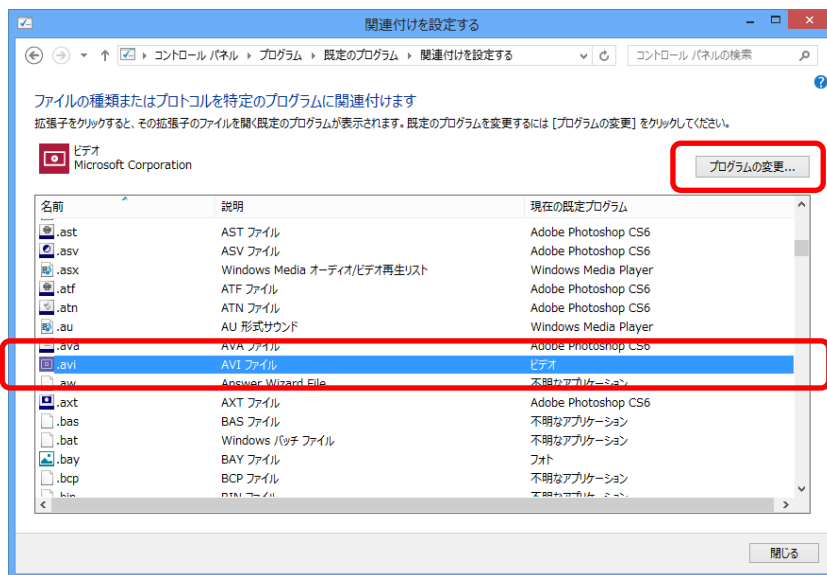
① コントロールパネルを開き、「プログラム」を選択



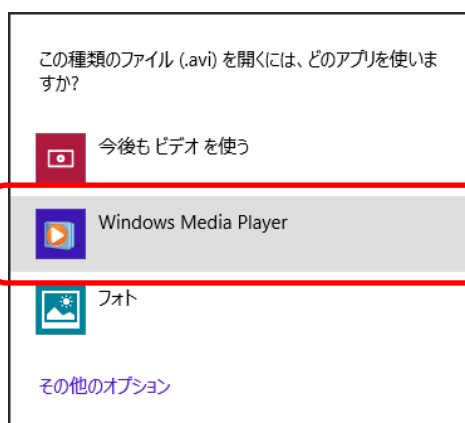
② 「あるファイルの種類を特定のプログラムでオープン」を選択



③ .avi の行を選択し「プログラムの変更」を選択



④ Windows Media Player を選択

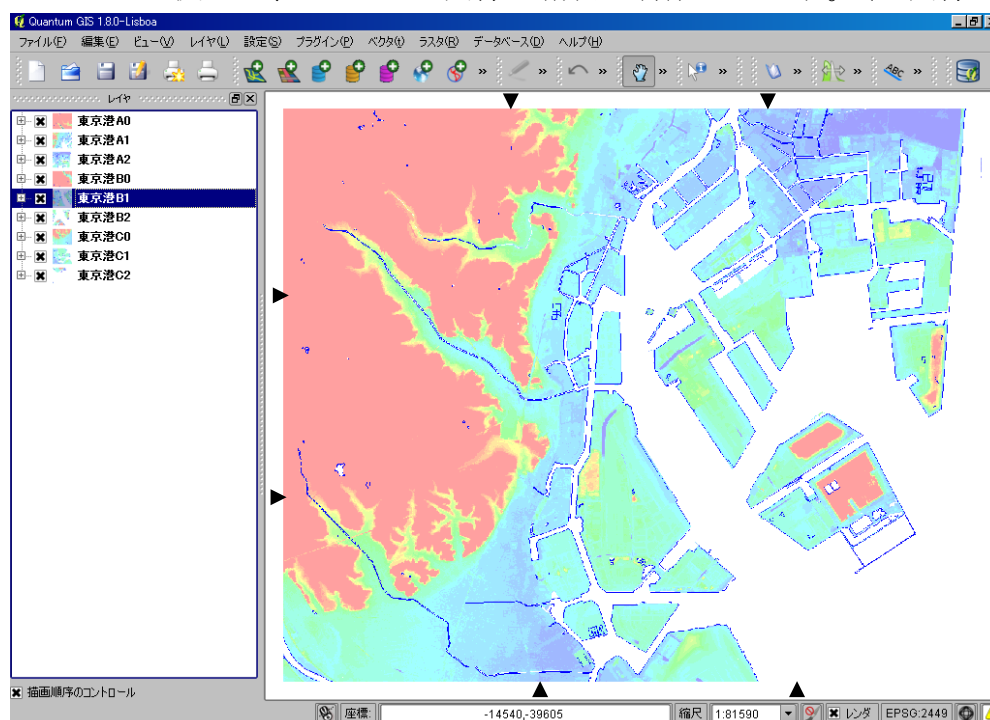


⑤ 「現在の既定プログラム」が変更されたら「閉じる」を選択



## (カ) GeoTIFFのコツ

- ① 静止画（GeoTIFF 形式）は設定された座標系の位置情報を持ちます。  
作成時には座標系と単位をよく確かめてください。  
（緯度・経度ではなく、平面直角座標系の値です）
- ② 静止画（GeoTIFF 形式）を選択すると余白の無い画像が作成されます。
- ③ GIS などを使えば、GeoTIFF 画像を精密に合成できます。（9 画像の例）



- ④ 複数の GeoTIFF を合成する場合、標高凡例間隔、標高凡例最下面は各地図に同じ値を設定してください。

Raster MapMaker				
描画設定	標高凡例間隔	標高凡例最下面	国土交通省GML	
	0	1	2	3
A	500	500	500	500
B	500	500	500	500
C	500	500	500	500
D	500	500	500	500

同じ値

Raster MapMaker				
描画設定	標高凡例間隔	標高凡例最下面	国土交通省GML	
	0	1	2	3
A	3500	3500	3500	3500
B	3500	3500	3500	3500
C	3500	3500	3500	3500
D	3500	3500	3500	3500

同じ値

#### 14. 津波・高潮浸水図の作成

### (ア)地図データの準備

描画対象範囲の行政区画、海岸線、水涯線、道路縁程度は必要です。  
P12の「地図データの入手」を参考にデータを準備して下さい。

### (イ)標高データの準備

できれば5 mメッシュを利用して下さい。  
P20の「標高データの入手」を参考にデータを準備して下さい。

非常に広い範囲を描く場合 10 mメッシュを利用します。  
P47 を参考にデータを準備して下さい。

P16 を参考にデータを解凍して下さい。

(ウ)地図の描画

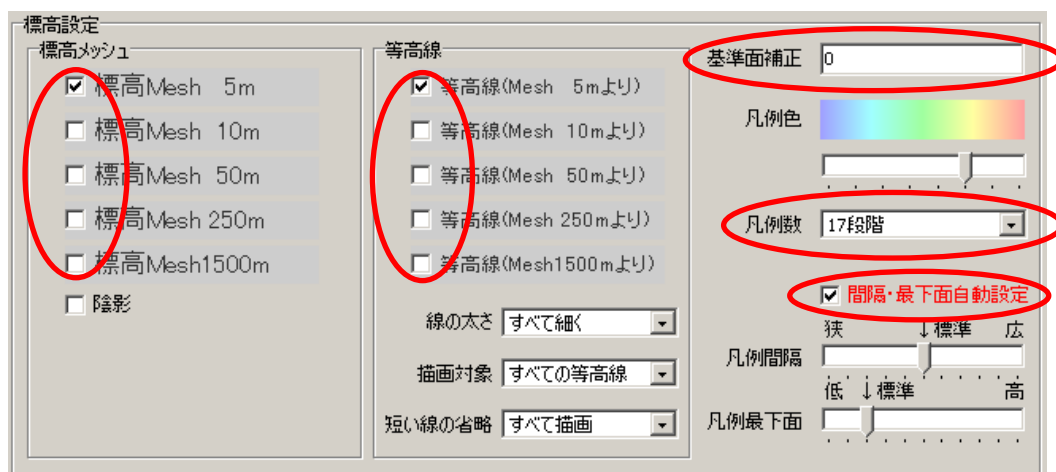
最初は行政区画、海岸線、水涯線、道路縁だけで描画範囲を確認します。  
単位は「m」を選択して下さい。  
P17の「とにかく作ってみる」参考にして下さい。  
描画範囲を修正して、必要な範囲が全て描けるように調整します。





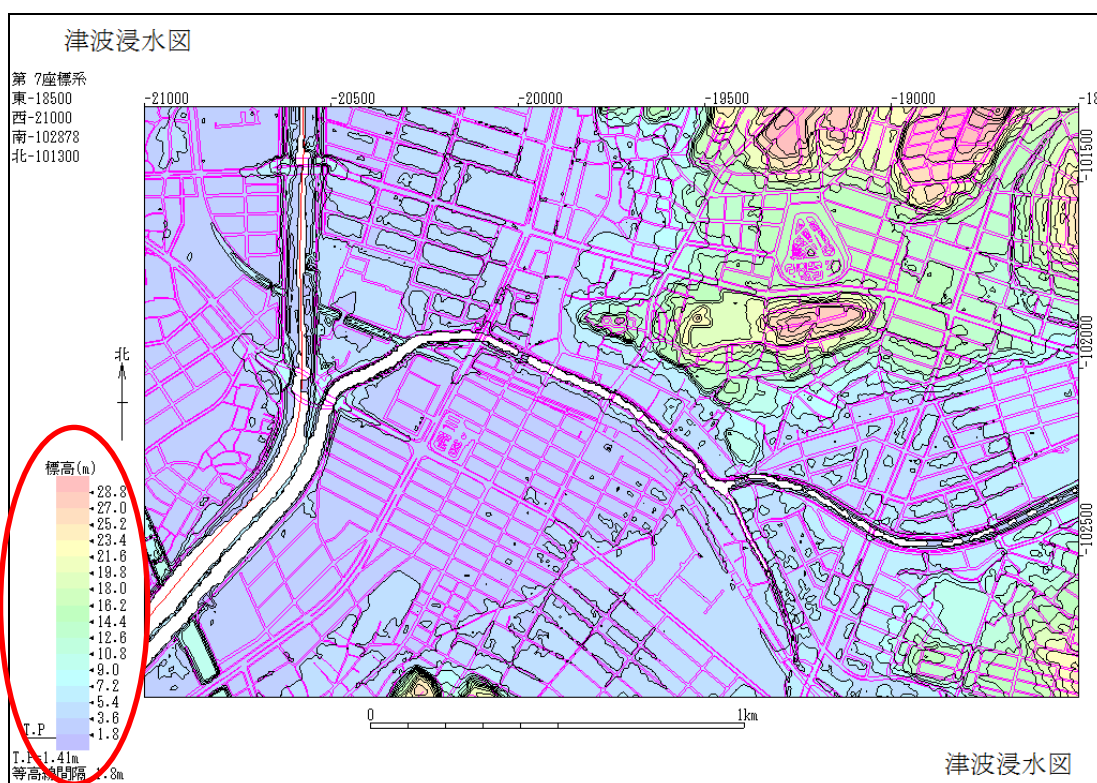
## (エ)標高図の描画

ダウンロードしたデータに合わせ標高メッシュを選択します。  
最初は基準面補正 0、凡例数を 17 段階、間隔・最下面自動設定にチェックを入れて処理します。



これで正常に標高が色分けされたら、左下に描画されている標高スケールを確認し、対象地域の標高範囲を把握しておきます。

(国土地理院 承認番号 平 27 情使、第 701 号)

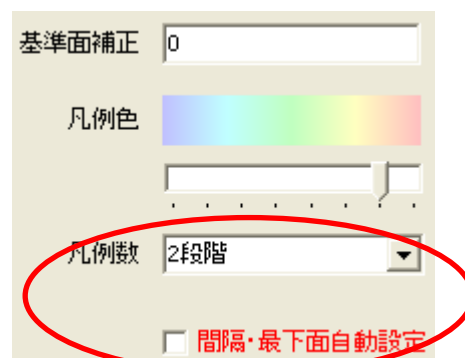
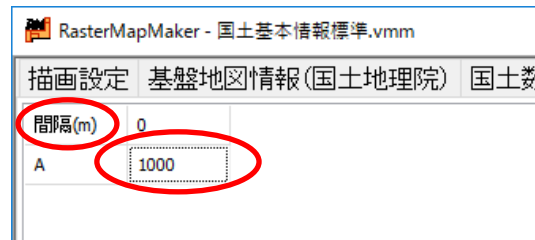


## (オ)浸水図の描画

次に凡例数を 2 段階に設定、

間隔・最下面自動設定のチェックを外します。

標高凡例間隔に大きな値（1000m）を設定



津波・高潮の予想高さの設定。

水位を設定する際には、どこからの高さなのかを確かめて下さい。

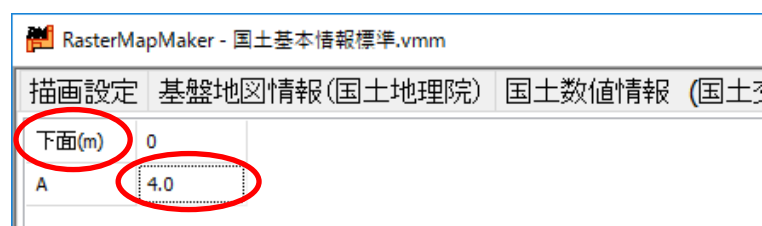
通常潮位からの上昇分、対象地域の基準面からの高さ、東京湾中等潮位からの高さなどが考えられます。

通常潮位からの上昇分の場合、津波・高潮の到達時の潮位を想定する必要があります。東京湾中等潮位からの潮位と津波波高の合計を標高凡例最下面に設定。基準面補正は 0 に設定します。

対象地域の基準面からの高さの場合、基準面と東京湾中等潮位の差を基準面補正に設定します。東京湾中等潮位より低い基準面の場合プラスの値、東京湾中等潮位より高い基準面の場合マイナスの値を設定します。逆に設定すると大きな間違いになります。注意して下さい。例えば名古屋の N.P を基準にする場合、基準面補正は 1.412 となります。

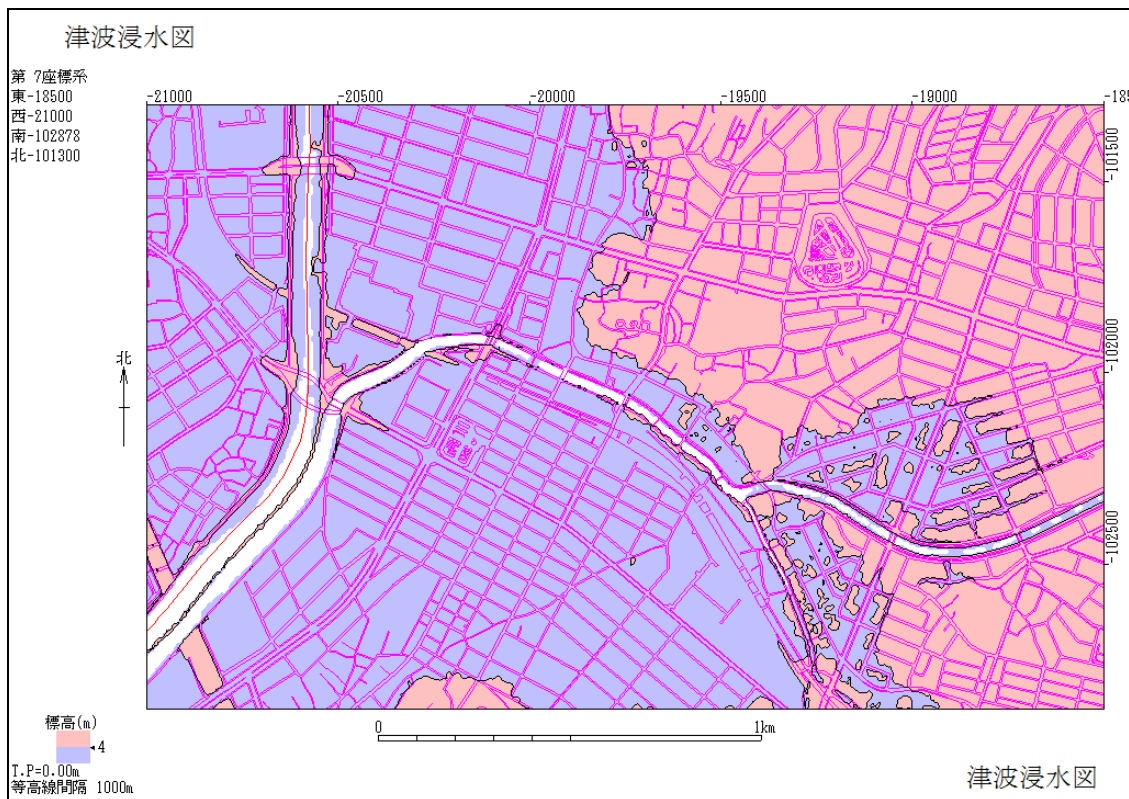
予想水位を標高凡例最下面に設定します。

東京湾中等潮位からの高さの場合、基準面補正は 0、予想波高を標高凡例最下面に設定します。



この設定で処理すると、標高凡例最下面より高い部分と低い部分で色分けされます。

(国土地理院 承認番号 平 27 情使、第 701 号)



これは、標高データだけで色分けしたものです。窪地や堤防で囲まれた地域は青色でも浸水しない場合もありますが、逆に、水路や下水道から浸水する場合があります。

津波は運動エネルギーによって標高の高い地域にまで遡上する事もあります。

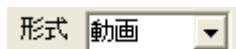
このソフトウェアの結果はあくまでメッシュ標高データのみの色分けです。

基準面補正 0 に設定した場合、高さの基準は東京湾中等潮位です。

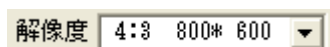
## 15. 津波浸水動画の作成

- ① 先に P60「**津波・高潮浸水図の作成**」で静止画が正常に描画できる事を確認

- ② 形式で「動画」を選びます。



- ③ 画像の解像度を選びます。



- ④ 凡例数を選びます。凡例数が多ければ滑らかなアニメーションになりますが、データも大きくなります。




- ⑤ 間隔・最下面自動設定のチェックを入れます。



- ⑥ 最高水位、開始水位を設定します。

最高水位は津波・高潮の予想水位を設定します。非常に重要な値です。  
開始水位は平均海面や最低潮位、最高潮位など色々な考え方があります。良く判らなければ標高スケールの最低高さを設定します。

基準面補正 0 に設定した場合、高さの基準は東京湾中等潮位です



- ⑦ 速度は凡例数が多い場合早めに、少ない場合遅めにして下さい。  
1 fps から 30fps まで選べます。

- ⑧ 標高メッシュを選択します。

標高メッシュ	等高線
<input checked="" type="checkbox"/> 標高Mesh 5m	<input checked="" type="checkbox"/> 等高線(Mesh 5mより)
<input type="checkbox"/> 標高Mesh 10m	<input type="checkbox"/> 等高線(Mesh 10mより)
<input type="checkbox"/> 標高Mesh 50m	<input type="checkbox"/> 等高線(Mesh 50mより)
<input type="checkbox"/> 標高Mesh 250m	<input type="checkbox"/> 等高線(Mesh 250mより)
<input type="checkbox"/> 標高Mesh1500m	<input type="checkbox"/> 等高線(Mesh1500mより)
<input type="checkbox"/> 陰影	
	線の太さ <input type="text" value="すべて細く"/>
	描画対象 <input type="text" value="すべての等高線"/>
	短い線の省略 <input type="text" value="すべて描画"/>

- ⑨ 陰影にチェックを入れても作成可能です。
- ⑩ 等高線を選択すると、水際線を黒く描きます。
- ⑪ 処理開始を選択し、しばらくお待ち下さい。動画作成には時間を要します。



これは、標高データだけで色分けしたものです。窪地や堤防で囲まれた地域は青色でも浸水しない場合もありますが、逆に、水路や下水道によって浸水する場合があります。

津波は運動エネルギーによって標高の高い地域にまで遡上する事もあります。

このソフトウェアの結果はあくまでメッシュ標高データのみの色分けです。

基準面補正0に設定した場合、高さの基準は東京湾中等潮位です。  
動画の左下には浸水面積も表示されます。参考にして下さい。

Windows8 で動画の再生が出来ない場合は p57 を参照してください。

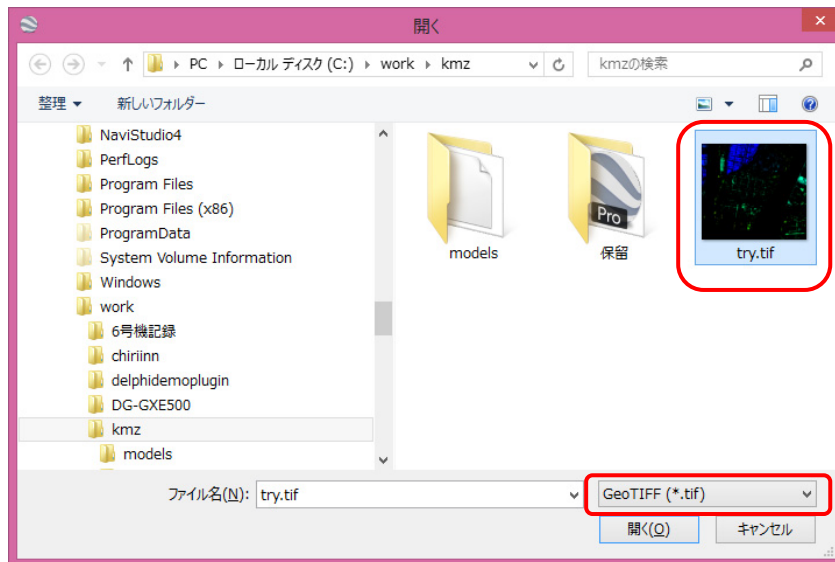
## 16. Google Earth で浸水域を表示

- ① Google Earth が正常に動作する事を確認
- ② RasterMapMaker の設定値読込で「Checkclear.vmm」を読み込
- ③ 形式を「静止画(GeoTIFF)」に設定
- ④ 座標系を「緯度・経度」に設定
- ⑤ 背景色を黒 (No.7) に設定
- ⑥ 等高線(Mesh 5m より)を選択
- ⑦ 描画対象に「窪地のみ(面描画)」
- ⑧ 凡例色を濃く設定
- ⑨ 凡例最下面を最高値に設定
- ⑩ 処理開始





- ⑪ Google Earth を起動
- ⑫ Google Earth の「ファイル」の「インポート」  
ファイル形式に GeoTIFF (\*.tif) を選択  
作成したファイルを選択

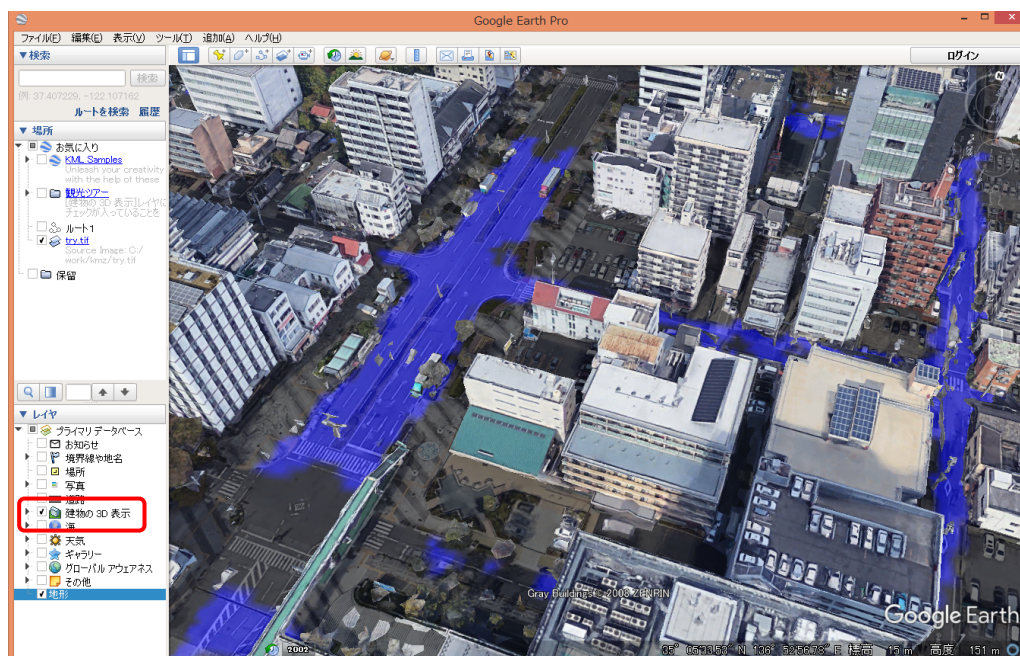


- ⑬ Google Earth -新規イメージオーバーレイ が表示されるので、  
もう一度作成したデータを選択  
透明度を中央に設定



⑭ Google Earth の視点を斜め方向に設定

⑮ 「建物の 3D 表示」を有効に



豪雨時に冠水しそうな範囲を着色できます。

## 17. 備考

### (ア)地図データの使用手続き

国土地理院の基盤地図情報を利用し作成した地図を公表する場合（私的利用以外の場合）、国土地理院の了承が必要な場合があります。

**測量成果の使用承認申請** を選ぶと国土地理院の測量成果の複製・使用承認申請のホームページが開きます。

行政区画のデータには図郭線が入っているのですが、**RasterMapMaker** が自動的に削除しています。行政区画を描画している場合は、図郭線を消している旨、備考に書き添えて申請してください。

国土数値情報のデータを利用し作成した地図を公表する場合（私的利用以外の場合）、国土数値情報利用約款に従ってください。

**国土数値情報 利用約款** を選ぶと利用約款のホームページが開きます。

### (イ)精度について

基盤地図情報の精度は国土交通省令第七十八号により、平面位置の誤差は、都市計画区域内では2.5 m以内、都市計画区域外では2.5 m以内。  
高さの誤差は、都市計画区域内では1.0メートル以内、都市計画区域外では5.0メートル以内。

### (ウ)アンインストール

完全に削除するためには[Shift]と[ALT]を押しながら[バージョン情報]をクリックし設定情報のフォルダを削除します。

(C:\¥Users¥[ユーザー名]\¥AppData¥Roaming¥RasterMapMaker)

次に、インストール時に作成した **RasterMapMaker** フォルダを削除します。レジストリへの書込みは行っていないので、これだけの操作で削除できます。

## (エ)ヘルプ

- ① 隠しフォルダを表示させる(Vista、7)
  - [コンピュータ] ウィンドウを表示
  - [整理] ボタンから [フォルダと検索のオプション] を選択
  - [表示] タブの [ファイルとフォルダの表示] を選択
  - [すべてのファイルとフォルダを表示する] を選択
- ② AllUnZip で解凍できない場合
  - ウイルス対策ソフトで動作を抑制される事があります。
  - rmm.zip を手動で解凍してみてください。
- ③ 行政区画が表示されない場合
  - 行政区画は基盤地図情報フォルダ内のデータから作成されます。
  - 基盤地図情報フォルダ内に行政区画データを置いてください。
- ④ 何も描画されない場合
  - 「サブフォルダも処理する」のチェックが外れている。
  - 海や湖などを範囲選択している。
  - 都道府県データフォルダを間違えて選択している。データの存在しないレイヤーを指定している。座標系を間違えている。
  - 描画範囲が広すぎる、または狭すぎる。
  - などが考えられます。
  - 地図名や方位、凡例も描画されない場合は申し訳ありませんが、**RasterMapMaker** の異常です。
  - 作者までご連絡いただくか掲示板にご記入ください。
- ⑤ 等高線や標高メッシュが描画されない場合
  - 標高データフォルダで標高メッシュ 5 m、10 mを間違えている。
  - 標高データフォルダで選択を間違えている。
  - 標高データの対象地域を間違えている。
  - 地図名や方位、凡例も描画されない場合、作者までご連絡ください。

- ⑥ 等高線の描画でメモリー不足が表示される  
P44 の占有メモリーの拡大をお試し下さい。  
それでも改善されなければ、描画範囲を狭めてください。  
動画の場合、等高線をはずすと改善される事があります。
- ⑦ 浸水動画が作成できない場合  
最高水位が開始水位より低い。  
凡例間隔が広すぎる。  
WindowsMediaPlayer で動画を開いていると、新たな動画が作れません。  
いったん WindowsMediaPlayer を終了してから処理を開始してください。
- ⑧ 図が傾いている場合  
座標系の選択が間違っている可能性があります。適用座標系をよく確かめてください。  
凡例の北は真北や磁北ではなく平面直角座標の座標軸方向です。
- ⑨ 複数の都道府県の描画  
基盤地図情報フォルダーの中に都道府県名のフォルダを作り、各データをダウンロードします。
- ⑩ 県境の描画の座標系選択  
県境でどちらの座標系を使うべきか迷ったときは、試しに2つの座標で範囲指定を行ってください。東端、西端、南端、北端の値は座標原点からの距離です。これらの値が小さくなる座標系の方が、歪みが小さいです。
- ⑪ 設定例  
この操作説明に用いた設定は作者のホームページからダウンロードできます。
- ⑫ 行政区画データファイルの確認  
Ctrl を押しながら「バージョン情報」をクリック、Windows のメモ帳を開き、「貼付け」を行います。  
行政区画が表示されない場合に、対象ファイルを確認できます。

(オ)ご意見・お問合せ

ご意見、不具合の情報、お問い合わせなどは [morita\\_shin2@yahoo.co.jp](mailto:morita_shin2@yahoo.co.jp)  
または <http://mapdxfmaker.bbs.fc2.com/>

(カ)ソフトウェアの著作権

- ① 配布ファイル名 **rmm.zip**
- ② ソフトウェア名 **RasterMapMaker** (地図作成ソフトウェア)
- ③ 著作権者名 森田伸二
- ④ 動作環境  
OS : Windows 2000、Windows Xp、Windows Vista、Windows 7、  
Windows 8、Windows 10 等  
Windows2000 は gdiplus.dll の組込みが必要な場合があります。  
Bitmap、avi、GeoTIFF のファイルを開覧できる環境  
インターネットを使える環境
- ⑤ 他のサーバへの転載、フロッピーディスクや CD-ROM、DVD、Blu-ray 等の  
媒体による配布、書籍・雑誌への掲載、商品への添付も可能です。
- ⑥ 改変は認めません。
- ⑦ 使用に対する対価は無償
- ⑧ このソフトウェアに起因する損害について、作者は一切補償いたしません。
- ⑨ **RasterMapMaker Copyright(C) 2011-2021 Morita Shinji. All rights reserved**

(キ)受賞

2014 年に国土地理院の電子国土功績賞を受賞



## (ク)測量成果の利用承認

操作説明書に掲載した地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 平 27 情使、第 701 号)  
これらの地図の複製や再使用については、国土地理院の承認が必要です。

## (ケ)バージョンアップ履歴

Ver 1.0	2011/06/27	
Ver 1.1	2011/07/09	標高メッシュ南東範囲の修正 標高データの有無の判定に基準値補正を付加 標高最低値の取得方法変更 浸水動画で浸水面積表示を付加
Ver1.2	2011/07/28	地図名の文字チェックの精度向上 .vmm ファイルの読込精度向上 多角点、標高点があれば標高補正值表示
Ver1.3	2011/08/27	標高メッシュの有無の判定精度の向上 中断ボタンの反応改善 行政区画の飛び地に対応 左下の文字表示位置修正
Ver2.0	2012/02/01	国土交通省 JPGIS 読み取り処理の全面改訂
Ver3.0	2012/06/14	国土交通省 JPGIS から GML に移行 国土交通省統一フォーマットから GML に移行
Ver4.0	2012/08/10	背景色の設定機能を追加 描画サイズの追加 線の太さを 15 段階に拡大
Ver4.1	2012/10/24	範囲指定画面の高速化 地図データ起動方法の修正 操作ミスの抑制

- Ver4.2            2013/03/23  
描画範囲指定の拡大・縮小をキーでも操作可能に
- Ver5.0            2013/06/03  
Allunzip が多重圧縮に対応  
50m、250m メッシュ作成機能追加  
設定ファイル様式変更
- Ver5.1            2013/09/09  
等高線の重複を抑制  
範囲指定で AdmArea データが無いときは AdmBdry を利用
- Ver5.2            2013/12/16  
GeoTIFF 形式を追加  
地理院の標高データの新様式に対応  
メモリー不足エラーのチェックを厳格に  
窪地（面描画）を追加  
範囲指定画面のキャンセルボタン位置変更
- Ver6.0            2014/05/27  
自動標高設定の計算方法修正  
陰影段彩図の描画機能を追加  
描画方法の一部に OpenGL を採用  
枠に座標値を表示  
国土交通省の一部データの新様式に対応  
ETOPO 標高データに対応  
標高フォルダ名の変更  
動作 OS から Me を削除
- Ver6.1            2014/08/31  
国土地理院新様式(UTF-8)に対応
- Ver6.2            2014/12/22  
範囲指定の道路表示でも国土地理院の新様式対応  
DemCollector も北方領土の様式（新様式）に対応
- Ver7.0            2016/01/31  
コンパイラーの変更  
ファイルリストの制御変更  
描画順序の制御変更  
国土基本情報に対応  
水域・建物を塗りつぶしに  
設定ファイルの様式変更

Ver7.1	2016/02/29	建物の外周を BldA のデータに変更
Ver7.2	2016/07/29	処理ファイル選択方式の変更による高速化 描画順序の最適化 国土地理院の標高データ様式の変更に対応
Ver8.0	2016/11/30	Program Files での起動を抑制 国土基本情報の海岸線、水涯線を細分化し河口部を排除 DemCollector の UTF-8 化 Mesh の精度向上
Ver9.0	2017/04/28	基盤地図情報の細分化 国土基本情報の細分化 多色行政区画機能追加
Ver10.0	2017/08/31	基盤地図情報レイヤーツリーにより処理を高速化 国土基本情報レイヤーツリーにより処理を高速化
Ver10.0	2019/03/15	操作説明書の修正
Ver10.0	2019/08/31	解凍ソフトがウイルス対策で抑制された時の対応を追加
Ver11.0	2019/09/30	国土基本情報のファイル仕様の変更に対応
Ver11.1	2021/01/11	AllUnZip を修正
Ver12.0	2024/02/13	AllUnZip の変更 国土数値情報の規格変更に対応 コンパイラの変更